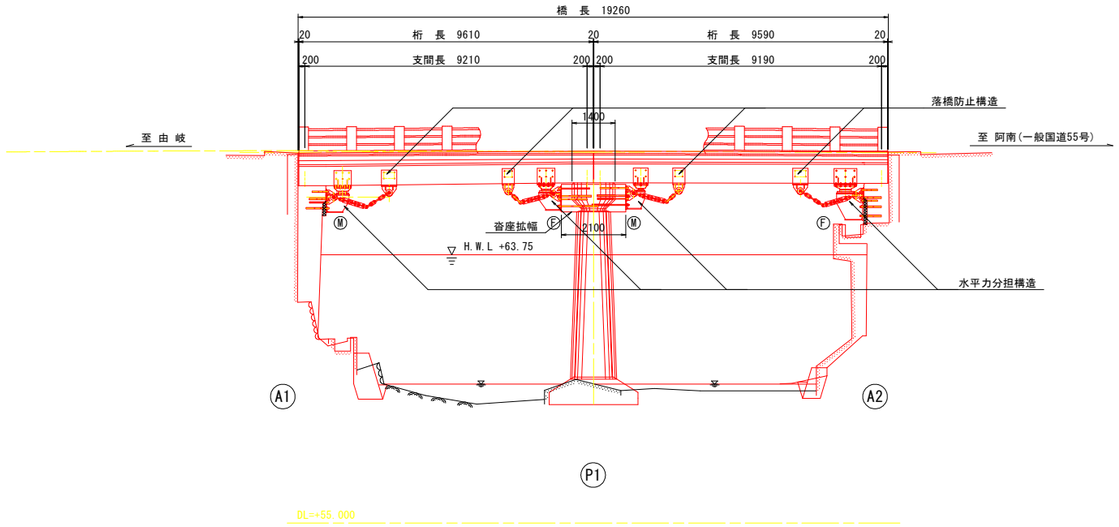
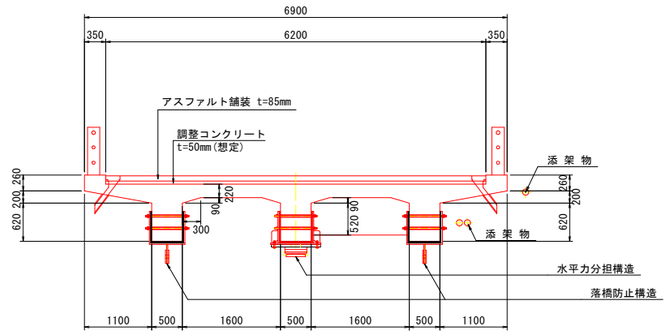
逆瀬橋補強一般図 S=1:100

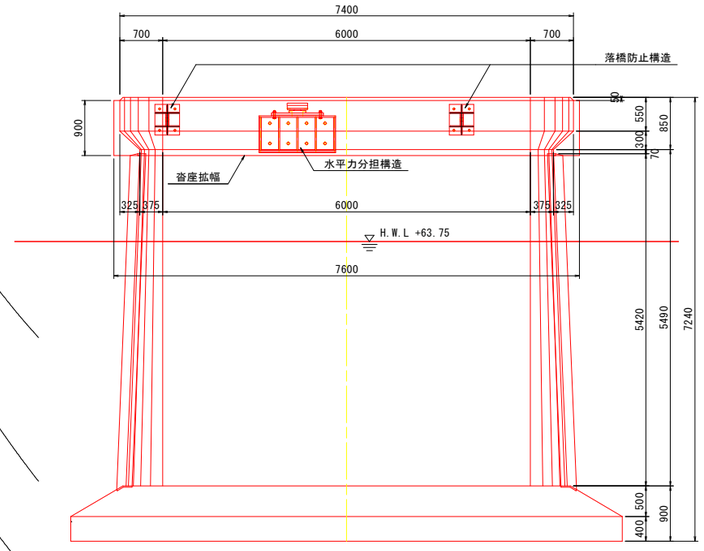
側　面　図



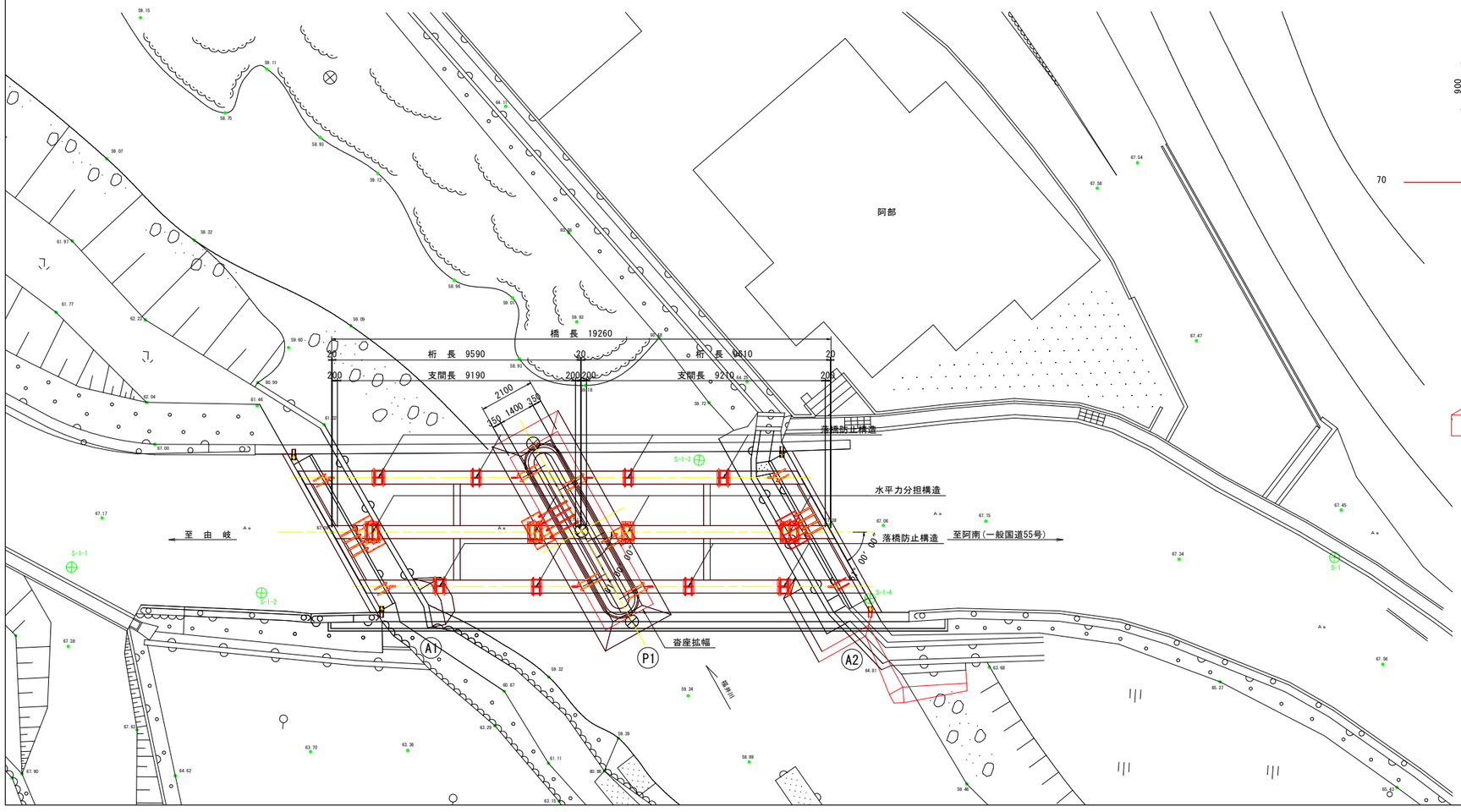
上部工断面図 S=1:50



P1橋脚正面図 S=1:50



平　面　図



耐震補強概要表

	A1	P1		A2
		A1側	A2側	
落橋防止構造	2基	2基	2基	2基
水平力分担構造	1基	1基	1基	1基
音座拡幅	－	1箇所		－

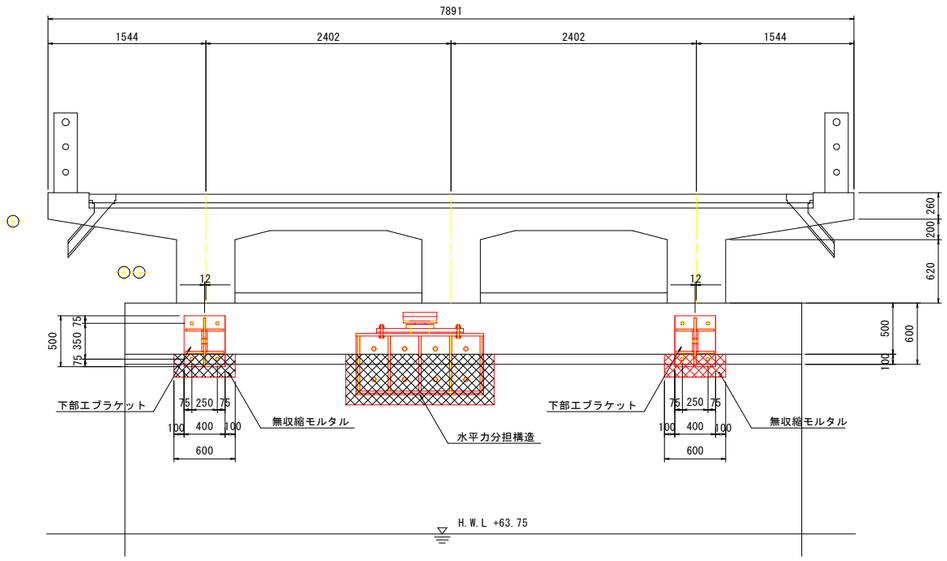
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	逆瀬橋補強一般図		
縮尺	1:100	図面番号	1 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

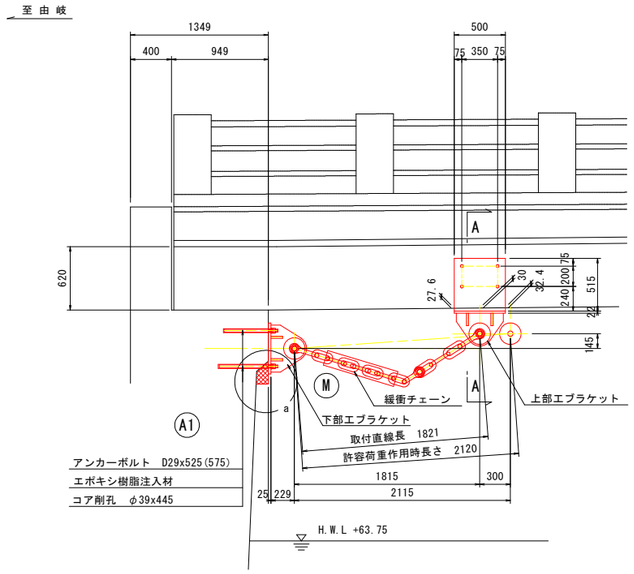
落橋防止構造構造図(その1)

A1橋台配置図

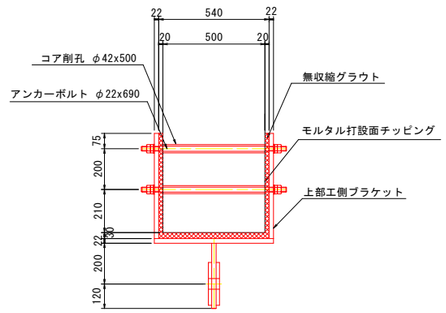
正 面 図 S=1:30
(橋座前面)



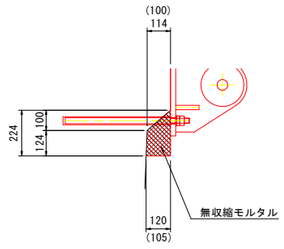
側 面 図 S=1:30



A － A S=1:15

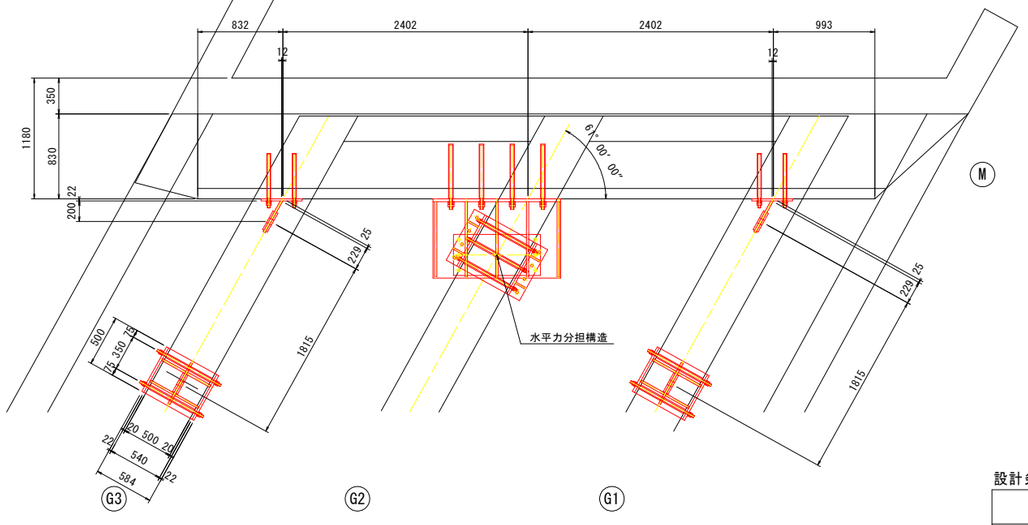


a部詳細図 S=1:15

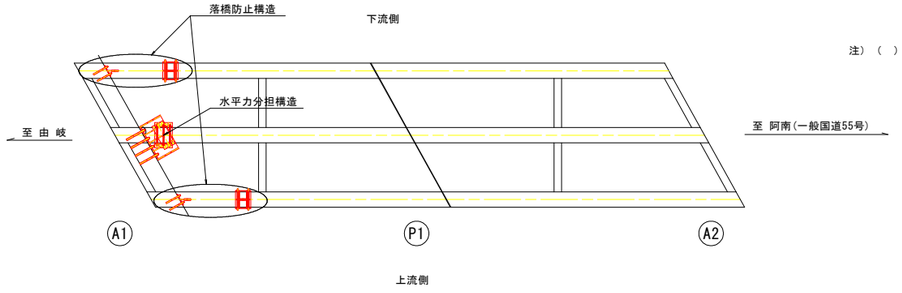


注）（ ）内寸法は、下部工軸直角方向を示す。

平 面 図 S=1:30



位 置 図



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
落橋防止装置	500	750	—	2	375	560	154

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼　材：HDZ55　※アンカーを除く
   アンカーネジ部：HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

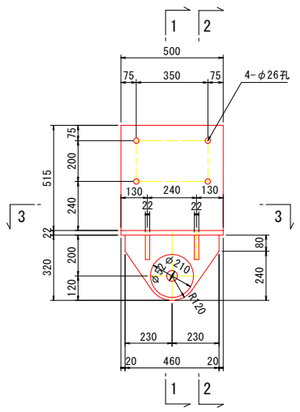
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	落橋防止構造構造図(その1)		
縮尺	図　示	図面番号	2 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

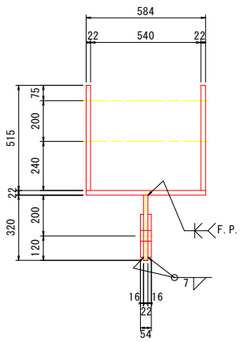
落橋防止構造構造図(その2)

A1橋台加工図

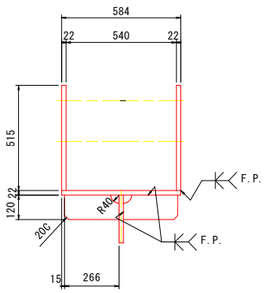
上部工側ブラケット S=1:15



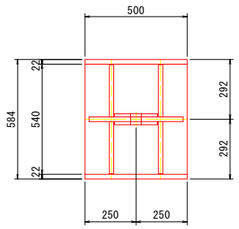
1 － 1



2 － 2



3 － 3

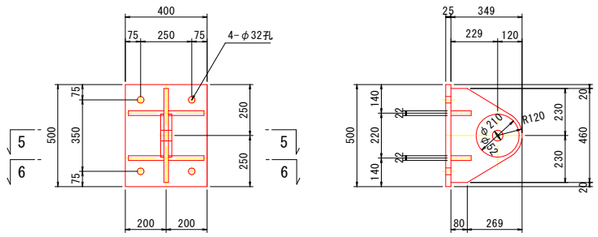


1基当り (1支承線当たり 2基)

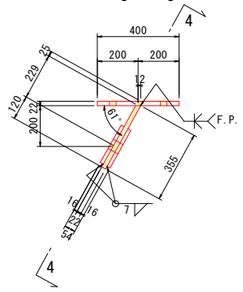
2 － Side	PL	500 x 22 x 515
1 － Base	PL	500 x 22 x 584
1 － Top	PL	320 x 22 x 460
2 － Ring	PL	210 x 16 x 210
4 － Rib	PL	120 x 22 x 266

下部工側ブラケット S=1:15

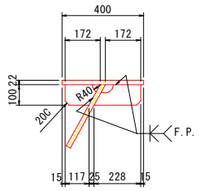
4 － 4



5 － 5



6 － 6

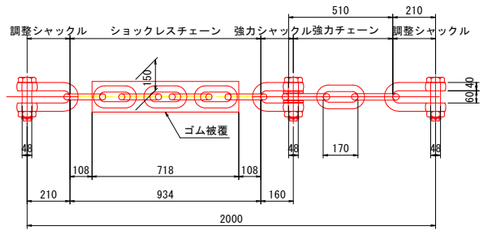


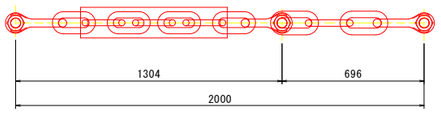
1基当り (1支承線当たり 全 2基)

1 － Base	PL	400 x 22 x 500
1 － Top	PL	355 x 22 x 460
2 － Ring	PL	210 x 16 x 210
2 － Rib	PL	100 x 22 x 172
2 － Rib	PL	100 x 22 x 228

緩衝チェーン詳細図 S=1:15

(3型3リンク,許容荷重 510kN 同等品)

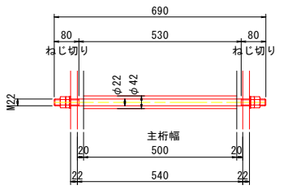




1-ショックレスチェーン 3型(SCM420H)
3-強力チェーンφ32(SCM430)
2-調整シャックルφ40(SCM435)
1-強力シャックルφ40(SCM435)

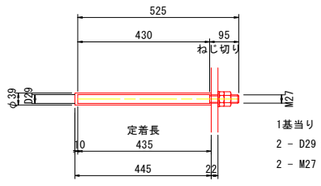
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



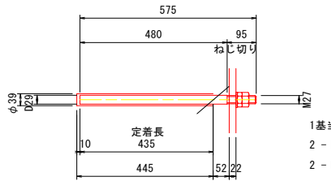
1基当り (1支承線:2基)
4 －φ22 x 690 (S35CN)
4 － M22 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

下部工側 (上段アンカー)



1基当り (1支承線:2基)
2 － D29 x 525 (SD345)
2 － M27 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

下部工側 (下段アンカー)



1基当り (1支承線:2基)
2 － D29 x 575 (SD345)
2 － M27 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

実施設計図面

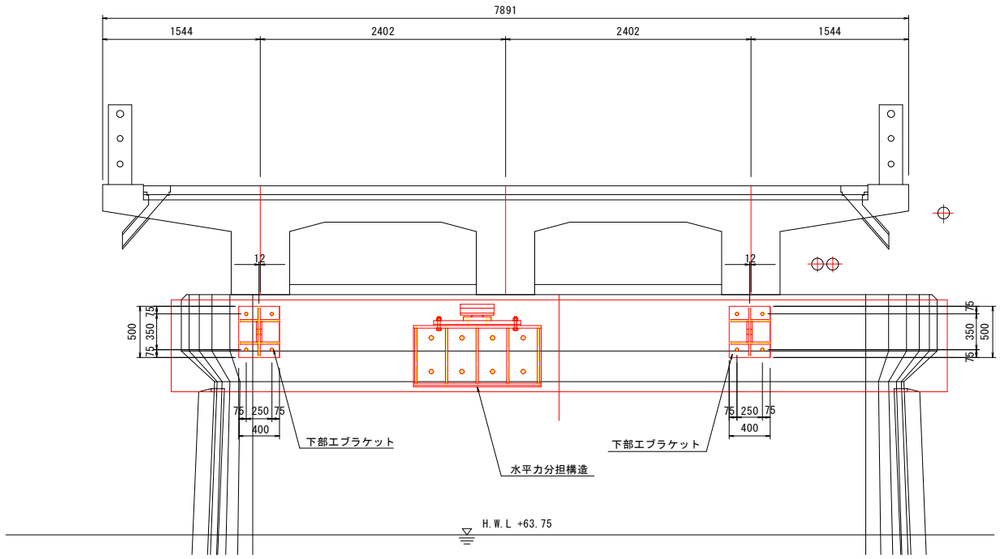
工事名	R２阿土 蒲生田福井線(逆瀬橋) 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線(逆瀬橋)		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	落橋防止構造構造図(その2)		
縮尺	図 示	図面番号	3 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

落橋防止構造構造図(その3)

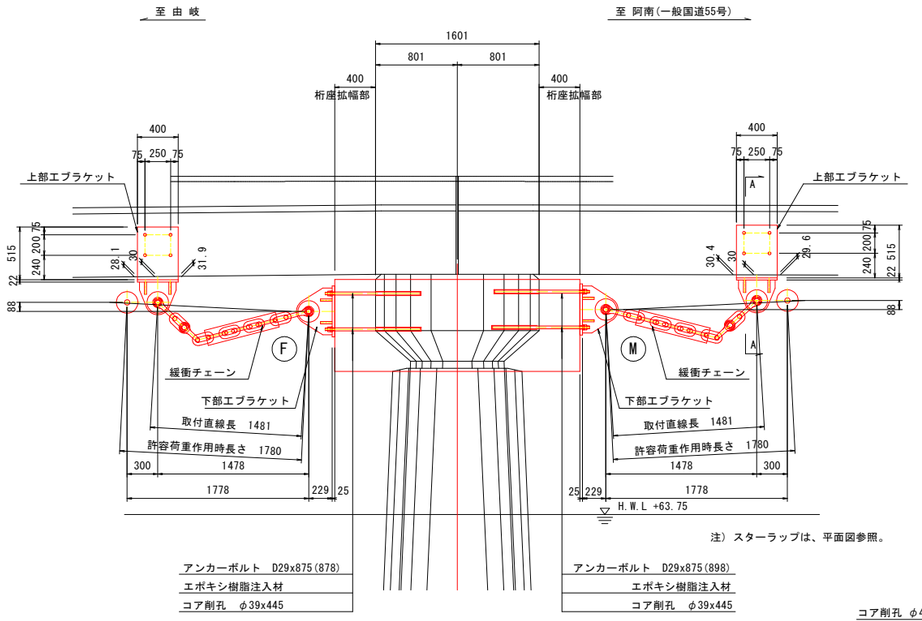
P1橋脚配置図

正 面 図 S=1:30

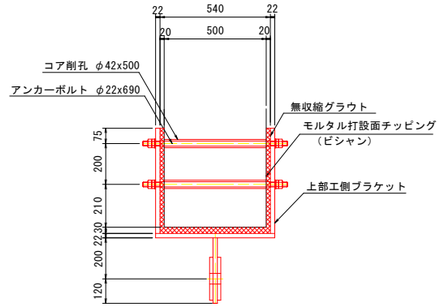
沓座拡幅前面



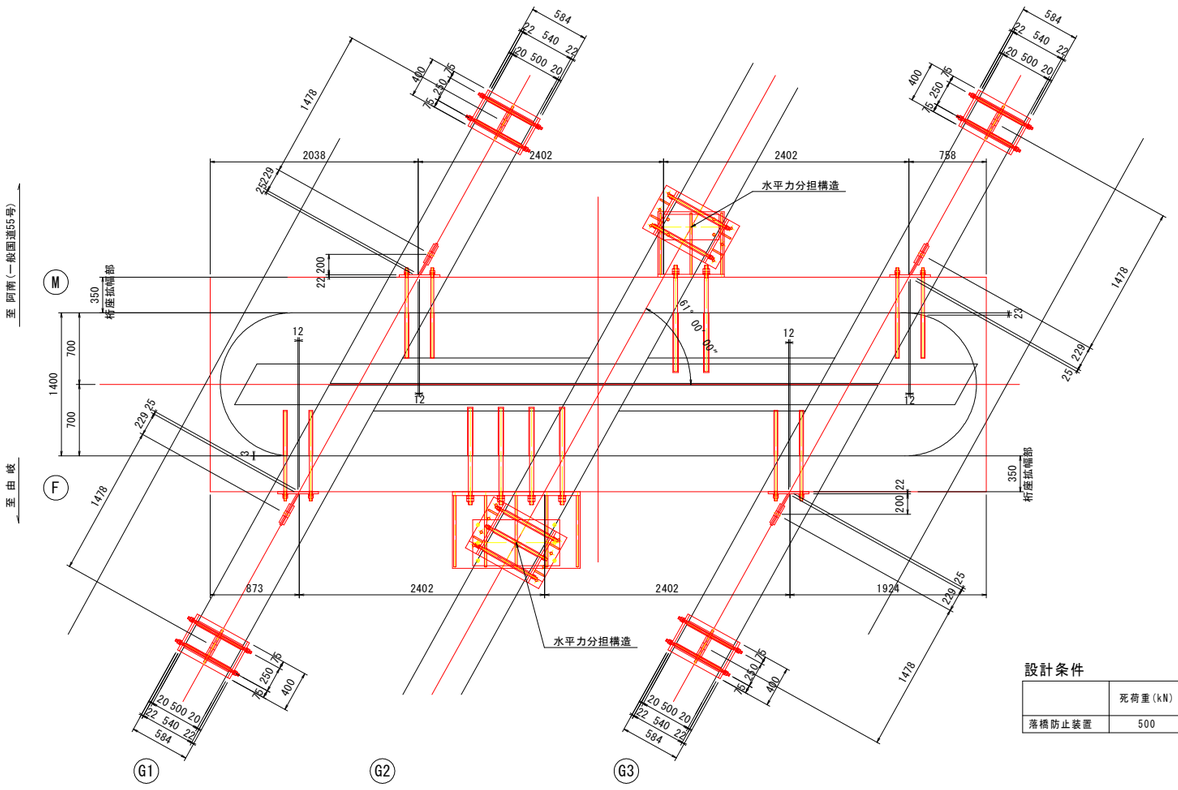
側 面 図 S=1:30



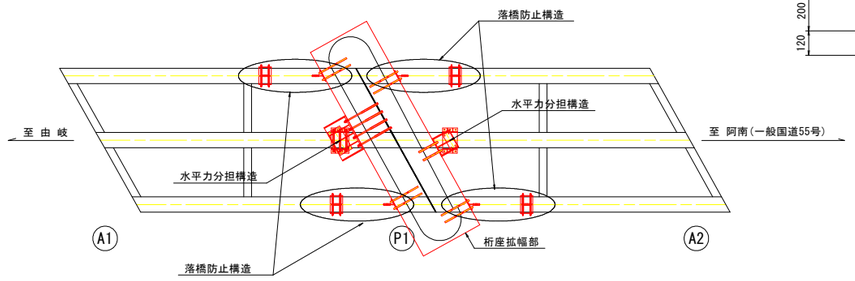
A － A S=1:15



平 面 図 S=1:30



位 置 図



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
落橋防止装置	500	750	―	2	375	560	154

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼　材：HDZ55　※アンカーを除く
   アンカーネジ部：HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

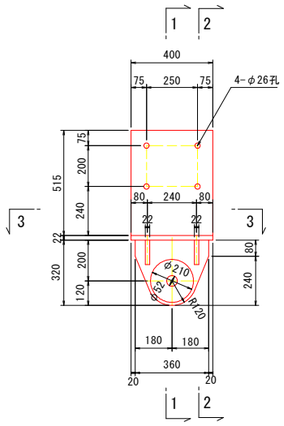
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）
工事箇所	阿南市福井町日の地
図面名	逆瀬橋落橋防止構造図(その3)
縮尺	図　示　　図面番号　4 / 22
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)

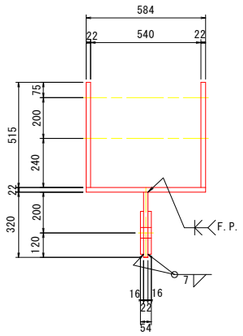
落橋防止構造構造図(その4)

P1橋脚加工図

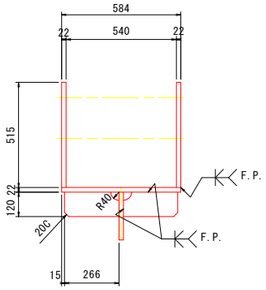
上部工側ブラケット S=1:15



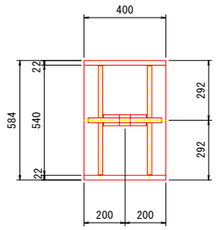
1 － 1



2 － 2

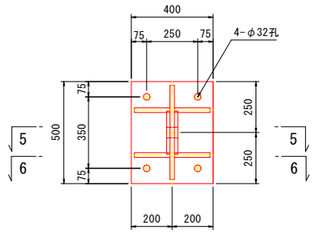


3 － 3

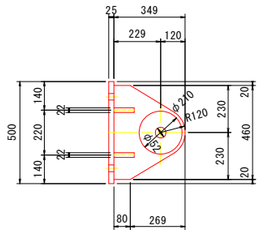


1基当り　(1支承線当たり 2基)
2 － Side　PL　400 x 22 x 515
1 － Base　PL　400 x 22 x 584
1 － Top　PL　320 x 22 x 360
2 － Ring　PL　210 x 16 x 210
4 － Rib　PL　120 x 22 x 266

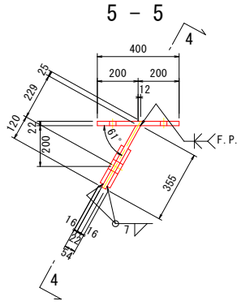
下部工側ブラケット S=1:15



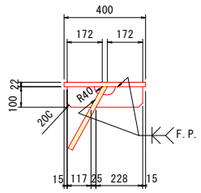
4 － 4



5 － 5



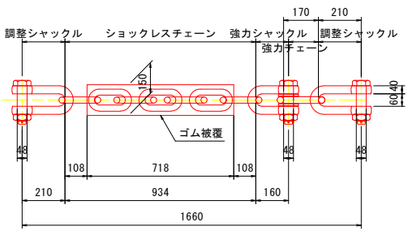
6 － 6

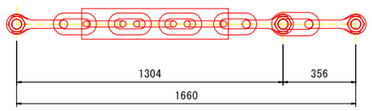


1基当り　(1支承線当たり 全 2基)
1 － Base　PL　400 x 22 x 500
1 － Top　PL　355 x 22 x 460
2 － Ring　PL　210 x 16 x 210
2 － Rib　PL　100 x 22 x 172
2 － Rib　PL　100 x 22 x 228

緩衝チェーン詳細図 S=1:15

(3型1リンク,許容荷重 510kN 同等品)

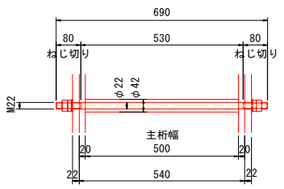




1-ショックレスチェーン 3型(SCM420H)
1-強力チェーンφ32(SCM430)
2-調整シャックルφ40(SCM435)
1-強力シャックルφ40(SCM435)

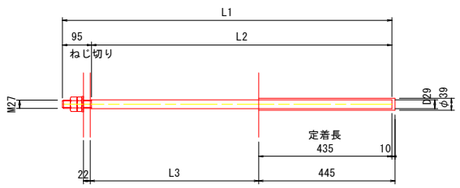
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



1基当り　(1支承線：2基)
4 －φ22 x 690 (S35CN)
4 － M22 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

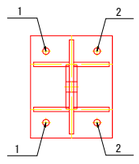
下部工側



1基当り　(1支承線：2基)
4 － D29 x L1　(SD345)
4 － M27 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

アンカーボルト寸法表

		1			2		
		L1	L2	L3	L1	L2	L3
起点側	G1	878	783	353	875	780	350
	G3	875	780	350	875	780	350
終点側	G1	875	780	350	875	780	350
	G3	898	803	373	875	780	350



注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

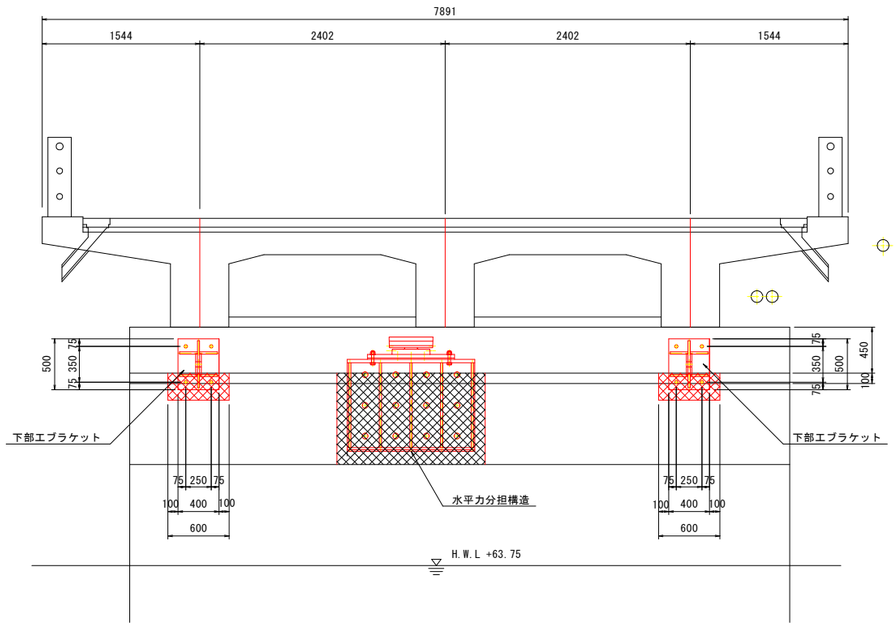
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	落橋防止構造構造図(その4)		
縮尺	図　示	図面番号	5 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

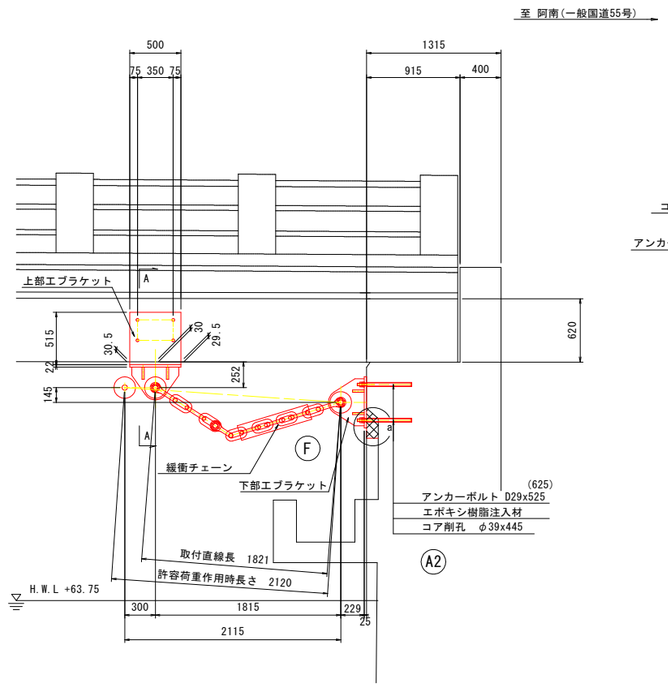
落橋防止構造構造図(その5)

A2橋台配置図

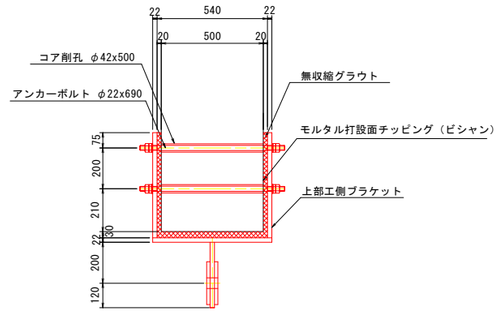
正 面 図 S=1:30
(橋座前面)



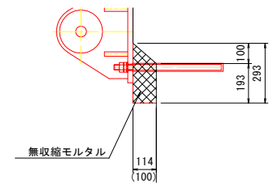
側 面 図 S=1:30



A － A S=1:15

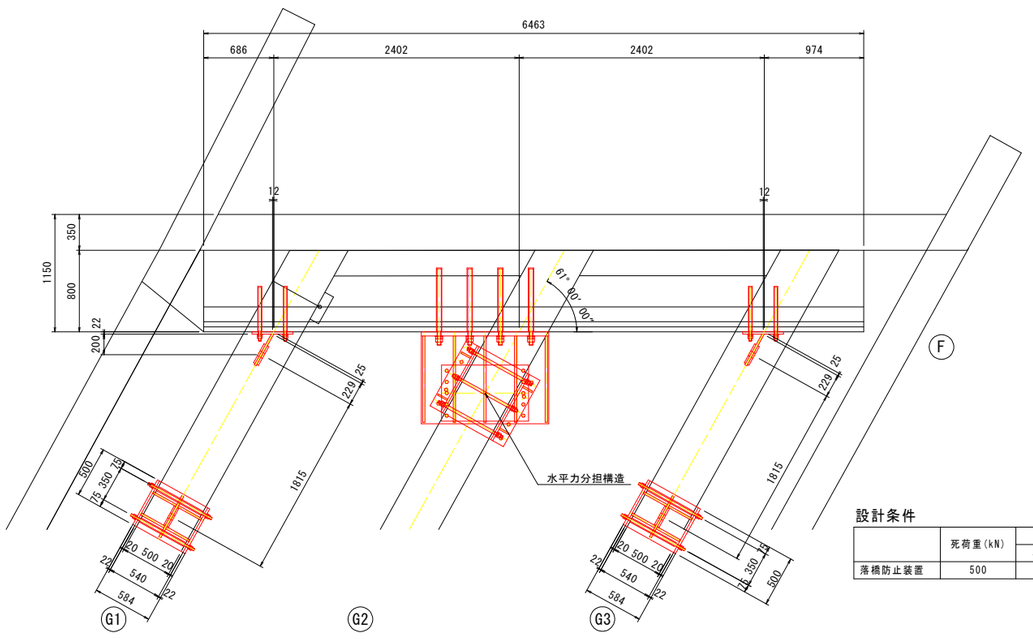


a部詳細図 S=1:15

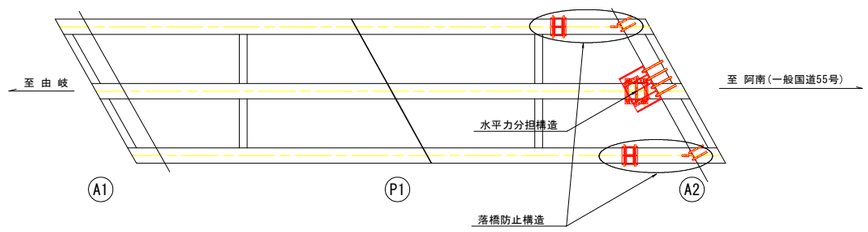


注）（ ）内寸法は、下部工軸直角方向を示す。

平 面 図 S=1:30



位 置 図



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
落橋防止装置	500	750	-	2	375	560	154

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼　材：HDZ55　※アンカーを除く
   アンカーネジ部：HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

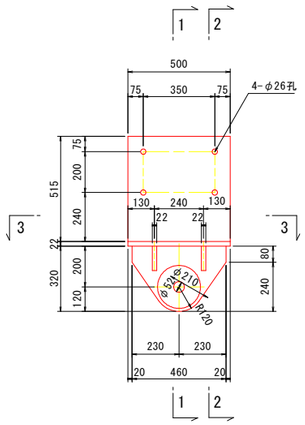
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	落橋防止構造構造図(その5)		
縮尺	図　示	図面番号	6 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

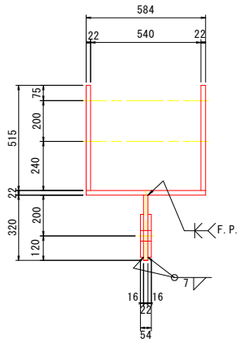
落橋防止構造構造図(その6)

A2橋台加工図

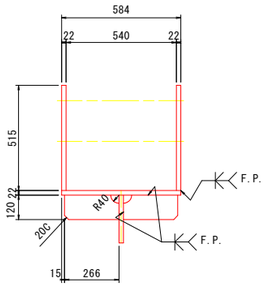
上部工側ブラケット S=1:15



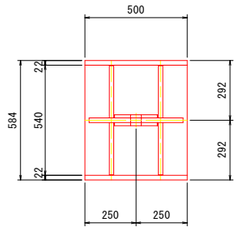
1 － 1



2 － 2

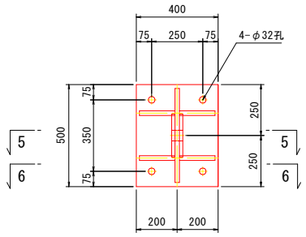


3 － 3

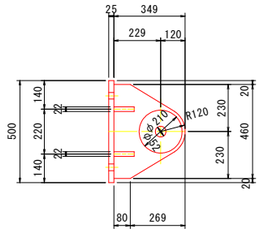


1基当り　(1支承線当たり 2基)
2 － Side　PL　500 x 22 x 515
1 － Base　PL　500 x 22 x 584
1 － Top　PL　320 x 22 x 460
2 － Ring　PL　210 x 16 x 210
4 － Rib　PL　120 x 22 x 266

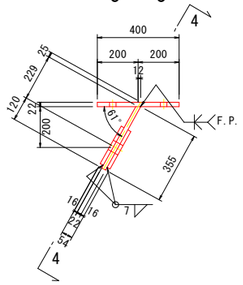
下部工側ブラケット S=1:15



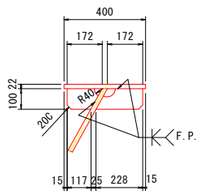
4 － 4



5 － 5



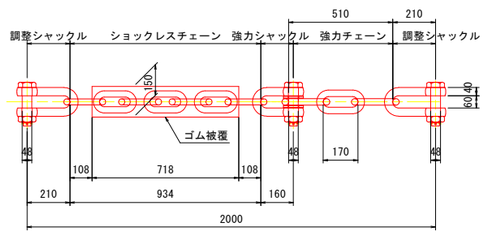
6 － 6

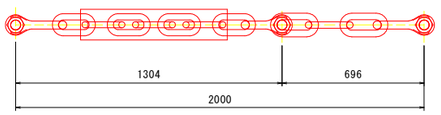


1基当り　(1支承線当たり 全 2基)
1 － Base　PL　400 x 22 x 500
1 － Top　PL　355 x 22 x 460
2 － Ring　PL　210 x 16 x 210
2 － Rib　PL　100 x 22 x 172
2 － Rib　PL　100 x 22 x 228

緩衝チェーン詳細図 S=1:15

(3型3リンク,許容荷重 510kN 同等品)

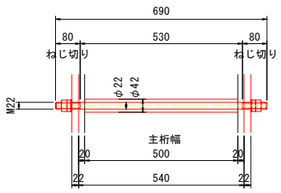




1-ショックレスチェーン 3型(SCM420H)
3-強力チェーンφ32(SCM430)
2-調整シャックルφ40(SCM435)
1-強力シャックルφ40(SCM435)

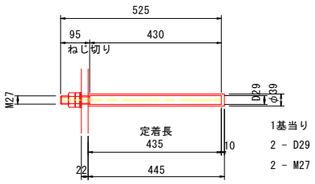
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



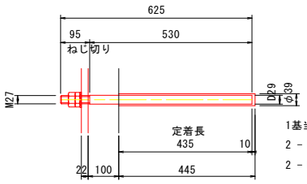
1基当り　(1支承線：2基)
4 －φ22 × 690 (S35CN)
4 － M22 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

下部工側（上段アンカー）



1基当り　(1支承線：2基)
2 － D29 × 525 (SD345)
2 － M27 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

下部工側（下段アンカー）



1基当り　(1支承線：2基)
2 － D29 × 625 (SD345)
2 － M27 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

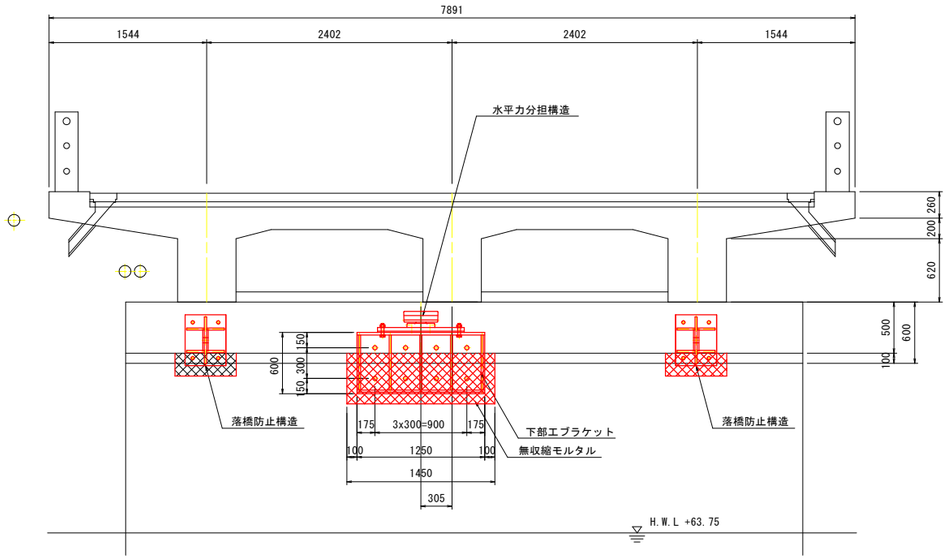
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	落橋防止構造構造図(その6)		
縮尺	図　示	図面番号	7 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

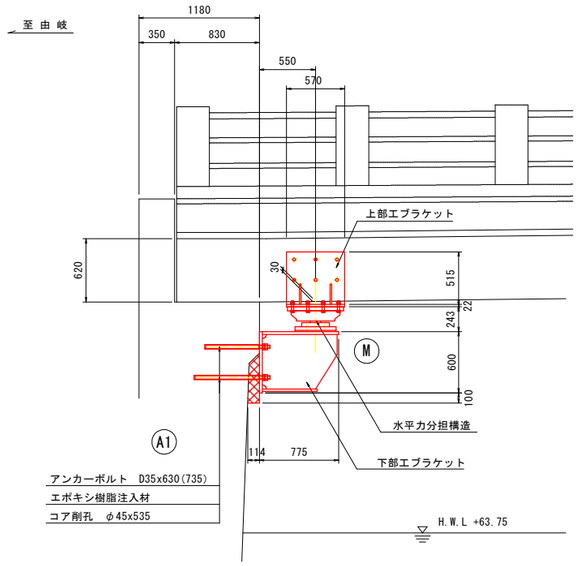
水平力分担構造構造図(その1)

A1橋台配置図

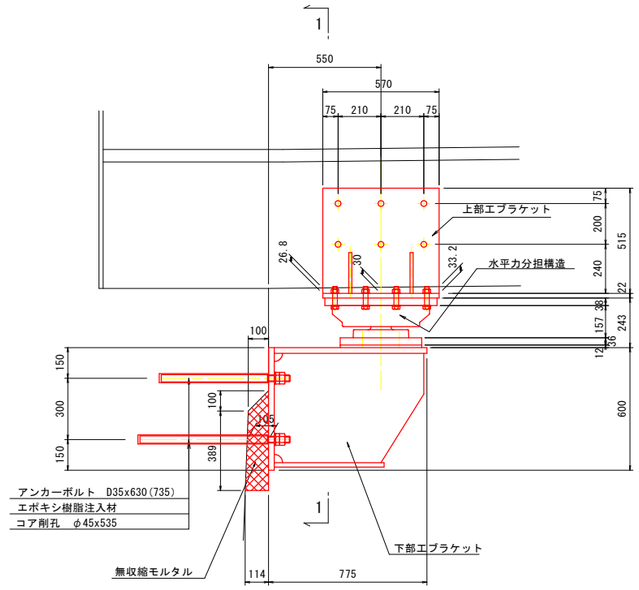
正 面 図 S=1:30
(橋座前面)



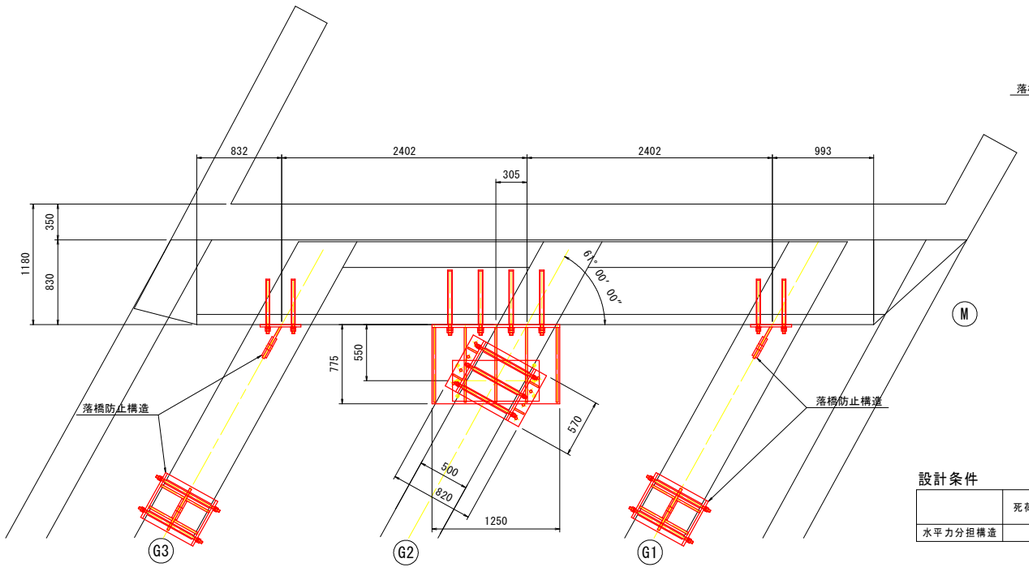
側 面 図 S=1:30



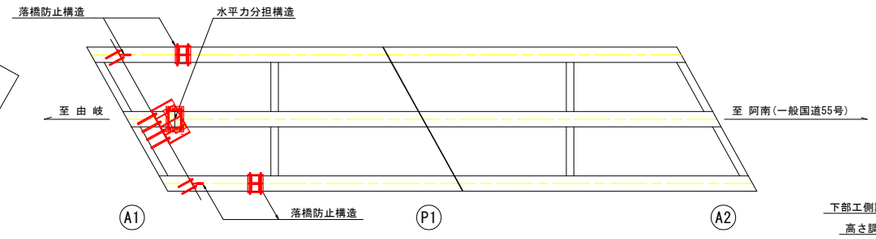
取付詳細図 S=1:15
側 面 図



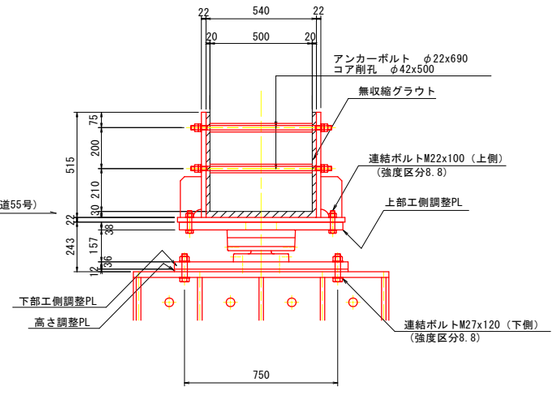
平 面 図 S=1:30



位 置 図



1 － 1



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
水平力分担構造	500	-	450	1	450	21	-

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ (φ：アンカー径) 以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼 材：HDZ55 ※アンカーを除く
   アンカーネジ部：HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

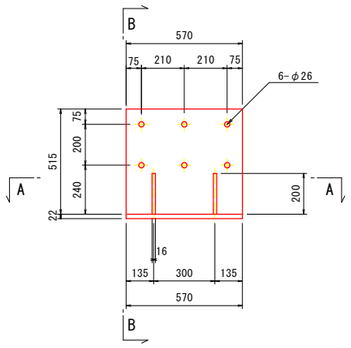
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その1)		
縮尺	図 示	図面番号	8 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

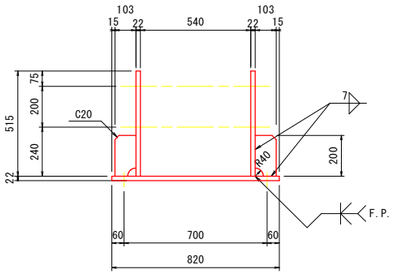
水平力分担構造構造図(その2)

A1橋台加工図

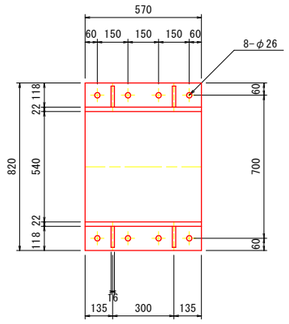
上部工側ブラケット S=1:15



B － B

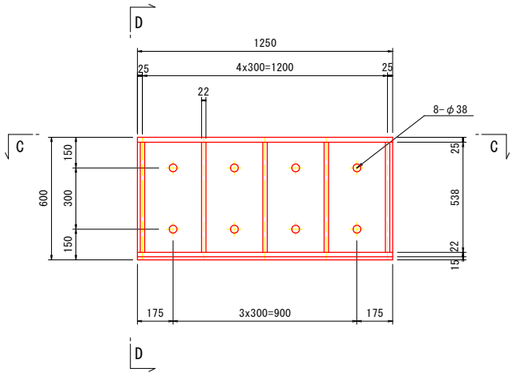


A － A

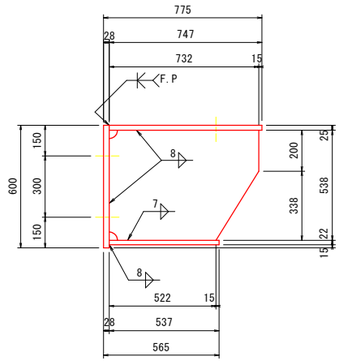


1基当り　(1支承線：1基)
2 - Side PL　570 x 22 x 515
1 - Base PL　570 x 22 x 820
4 - Rib　PL　103 x 16 x 200

下部工側ブラケット S=1:15

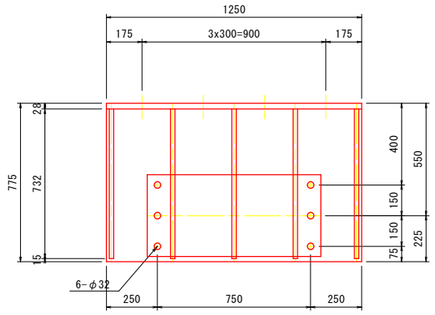


D － D

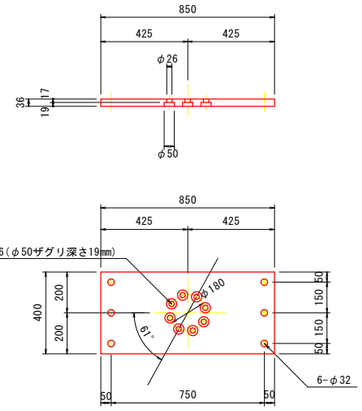


1基当り(1支承線：1基)
1 - UFlg PL　747x25x1250
1 - LFlg PL　537x22x1250
1 - Base PL　600x28x1250(SM490YB)
5 - Rib　PL　538x22x732(Net:0.91)

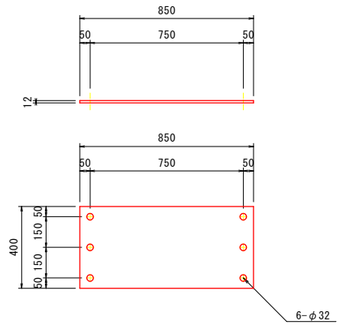
C － C



下部工側調整PL S=1:15

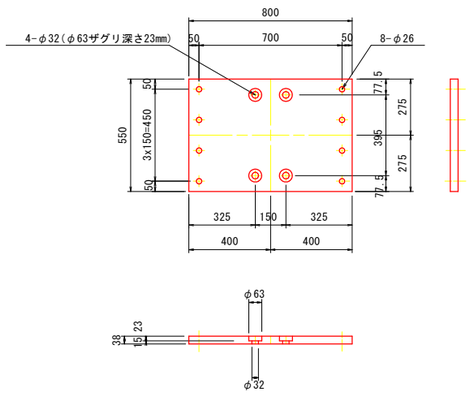


1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　400 x 36 x 850(SM490YB)
6-連結ボルト M27 x 120(1-N,2W) (強度区分8.8)



1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　400 x 12 x 850(SS400)

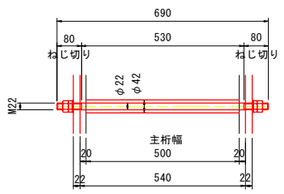
上部工側調整PL S=1:15



1基当り　(1支承線：1基)
1- PL　550 x 38 x 800 (SM490YB)
8- 連結ボルト M22x100(1-N,2-W) (強度区分8.8)

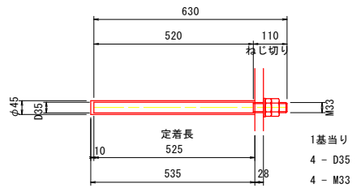
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



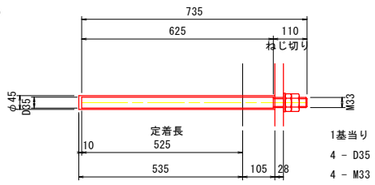
1基当り　(1支承線：1基)
6 -φ22 x 690 (S35CN)
6 - M22 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

下部工側（上段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
4 - D35 x 630　(SD345)
4 - M33 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

下部工側（下段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
4 - D35 x 735　(SD345)
4 - M33 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

注記)
1.特記なき材質は全てSM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3.工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4.鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5.図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

実施設計図面

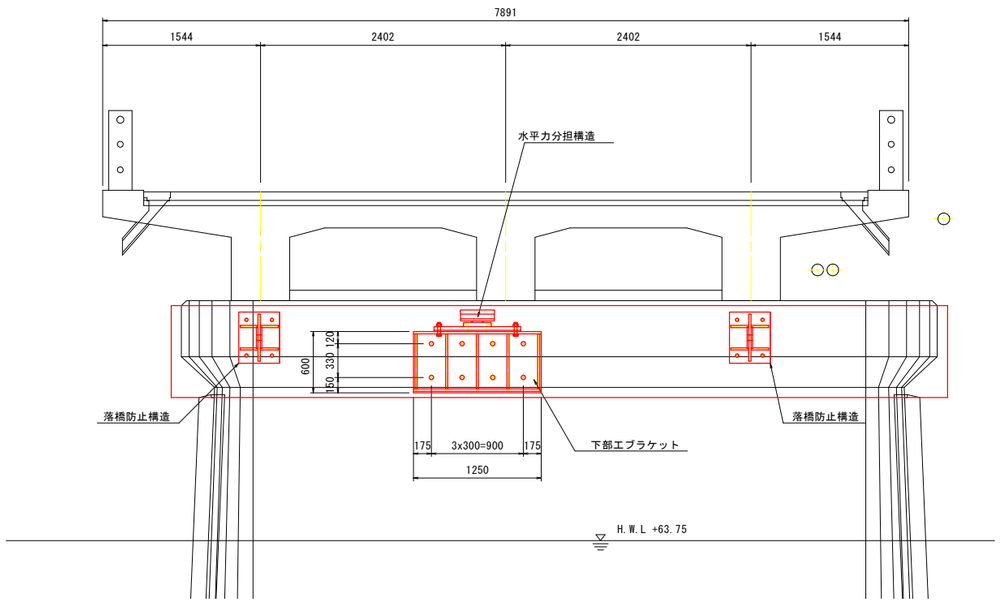
工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その2)		
縮尺	図　示	図面番号	9 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

水平力分担構造構造図(その3)

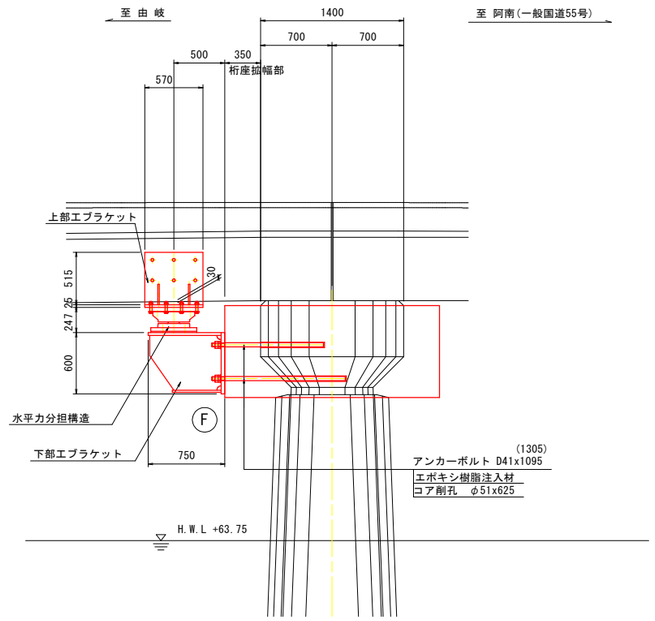
P1橋脚（起点側）配置図

正 面 図 S=1:30

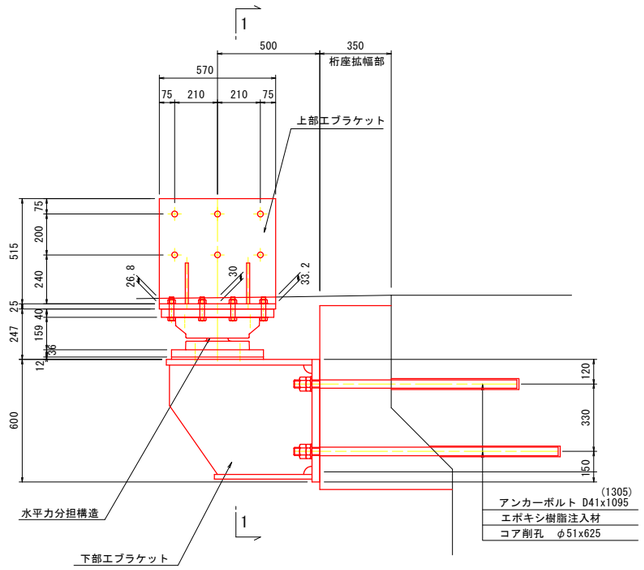
沓座拡幅前面



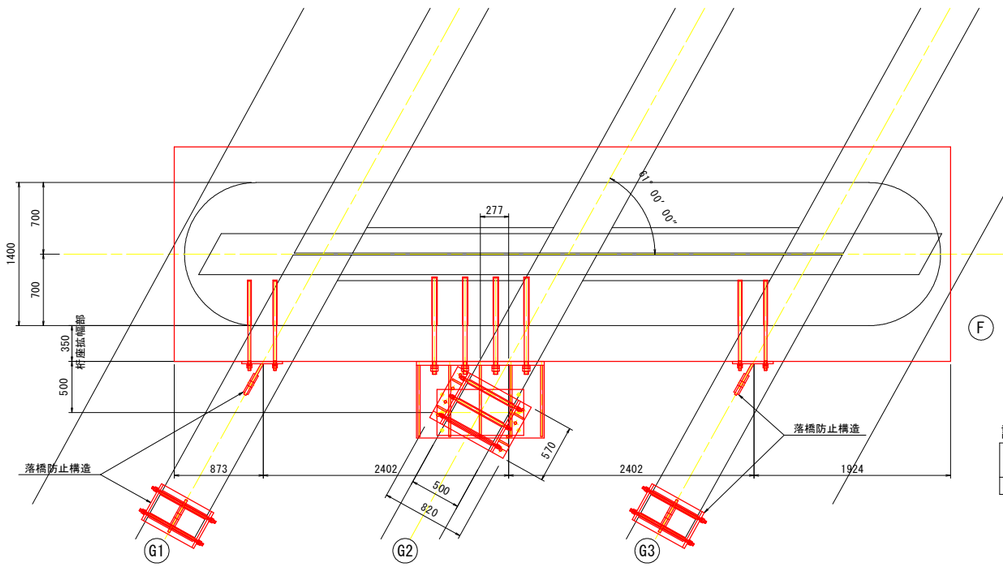
側 面 図 S=1:30



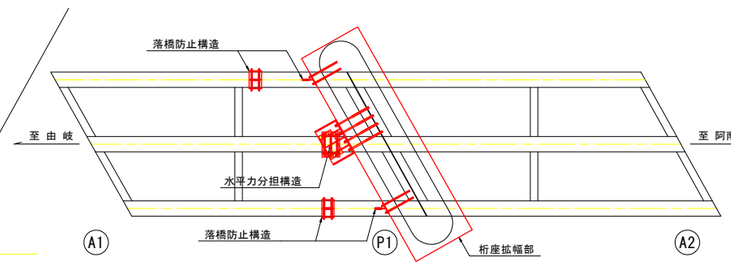
取付詳細図 S=1:15



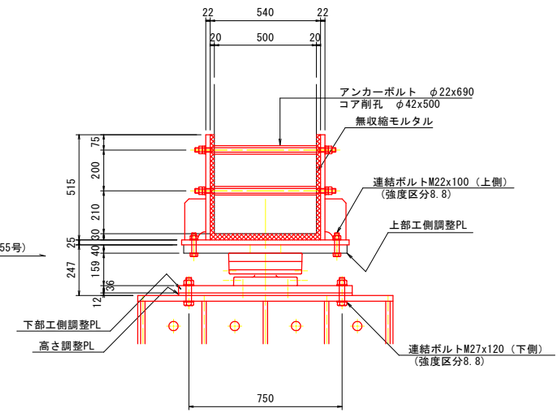
平 面 図 S=1:30



位 置 図



1 － 1



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
水平力分担構造	500	610	200	1	610	15	-

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼　材：HDZ55　※アンカーを除く
   アンカーネジ部：HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

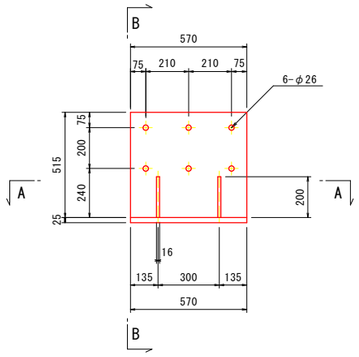
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その3)		
縮尺	図　示	図面番号	10 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

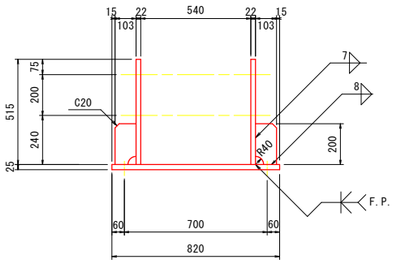
水平力分担構造構造図(その4)

P1橋脚（起点側）加工図

上部工側ブラケット S=1:15

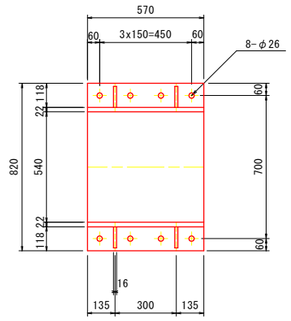


B－B

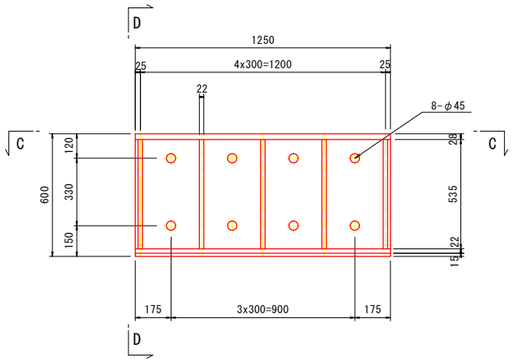


1基当り　(1支承線：1基)
2 - Side PL　570 x 22 x 515
1 - Base PL　570 x 25 x 820(SM490YB)
4 - Rib　PL　103 x 16 x 200

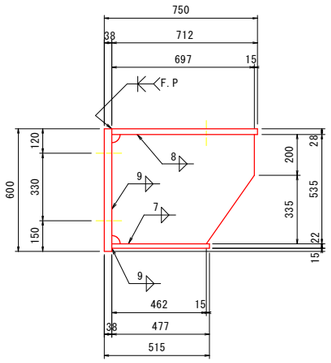
A－A



下部工側ブラケット S=1:15

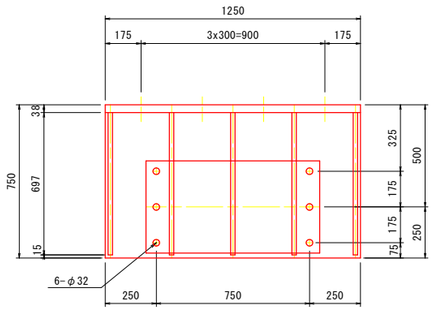


D－D

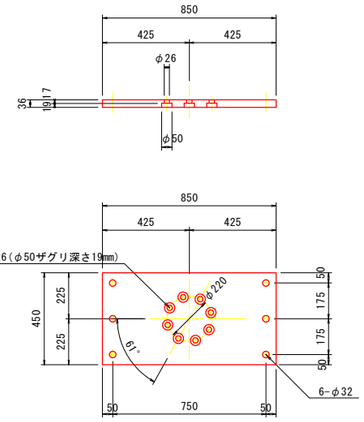


1基当り(1支承線：1基)
1 - UFlg PL　712x28x1250(SM490YB)
1 - LFlg PL　477x22x1250
1 - Base PL　600x38x1250(SM490YB)
5 - Rib　PL　535x22x697(Net:0.89)

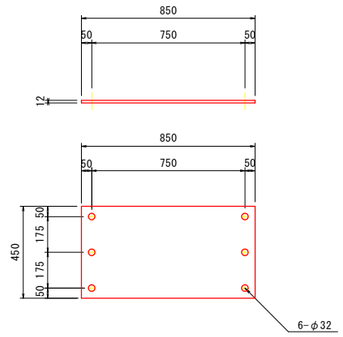
C－C



下部工側調整PL S=1:15

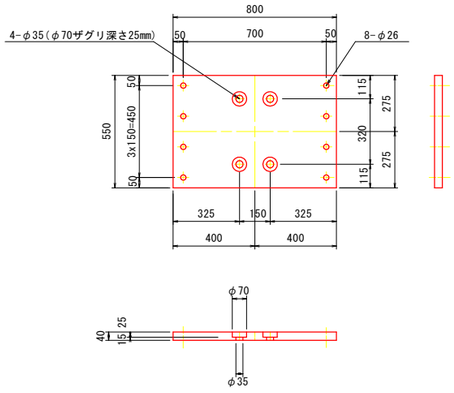


1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　450 x 36 x 850(SM490YB)
6-連結ボルト M27 x 120(1-N,2W) (強度区分8.8)



1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　450 x 12 x 850(SS400)

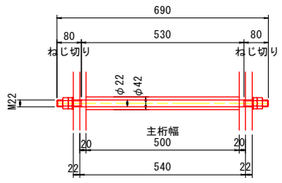
上部工側調整PL S=1:15



1基当り　(1支承線：1基)
1- PL　550 x 40 x 800 (SM490YB)
8- 連結ボルト M22x100(1-N,2-W) (強度区分8.8)

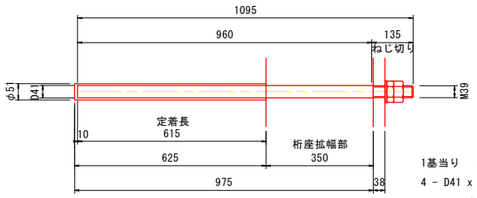
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



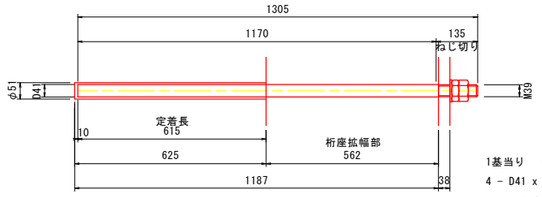
1基当り　(1支承線：1基)
6 -φ22 x 690 (S35CN)
6 - M22 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

下部工側（上段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
4 - D41 x 1095　(SD345)
4 - M39 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

下部工側（下段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
4 - D41 x 1305　(SD345)
4 - M39 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

実施設計図面

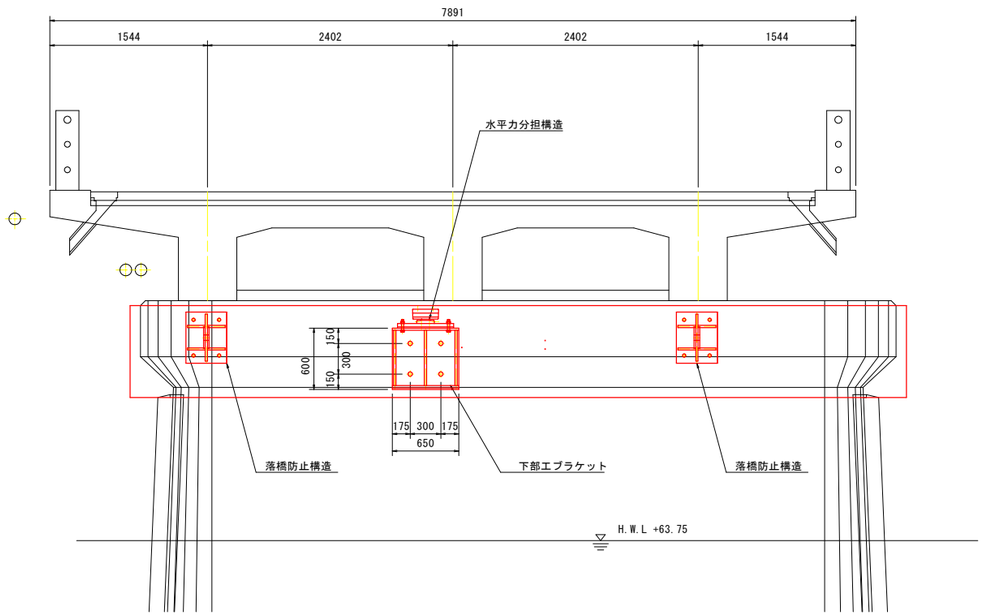
工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その4)		
縮尺	図　示	図面番号	11 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

水平力分担構造構造図(その5)

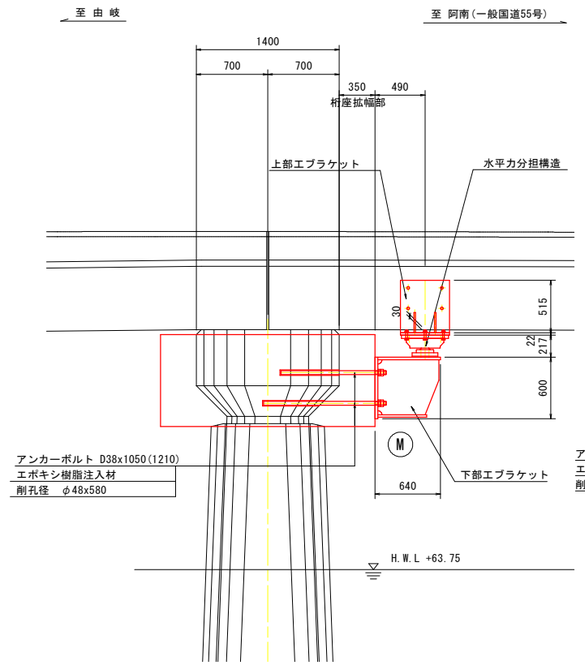
P1橋脚（終点側）配置図

正 面 図 S=1:30

沓座拡幅前面

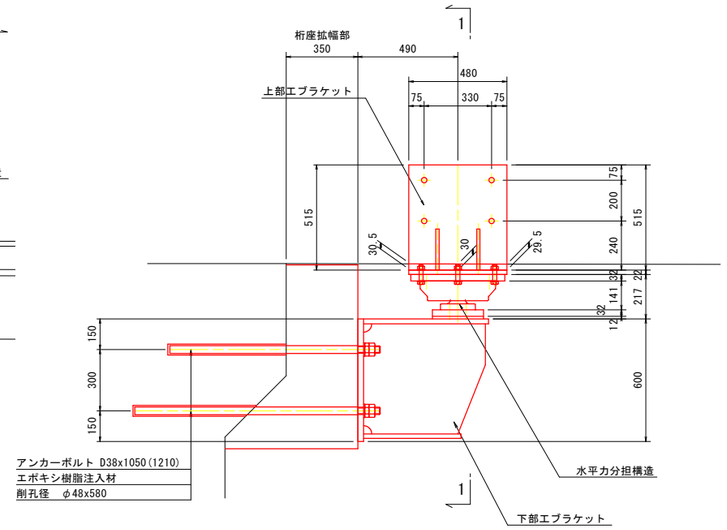


側 面 図 S=1:30

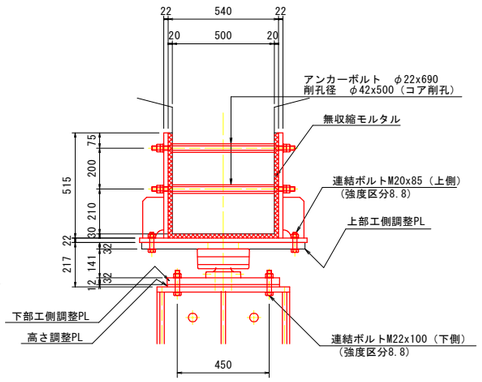


取付詳細図 S=1:15

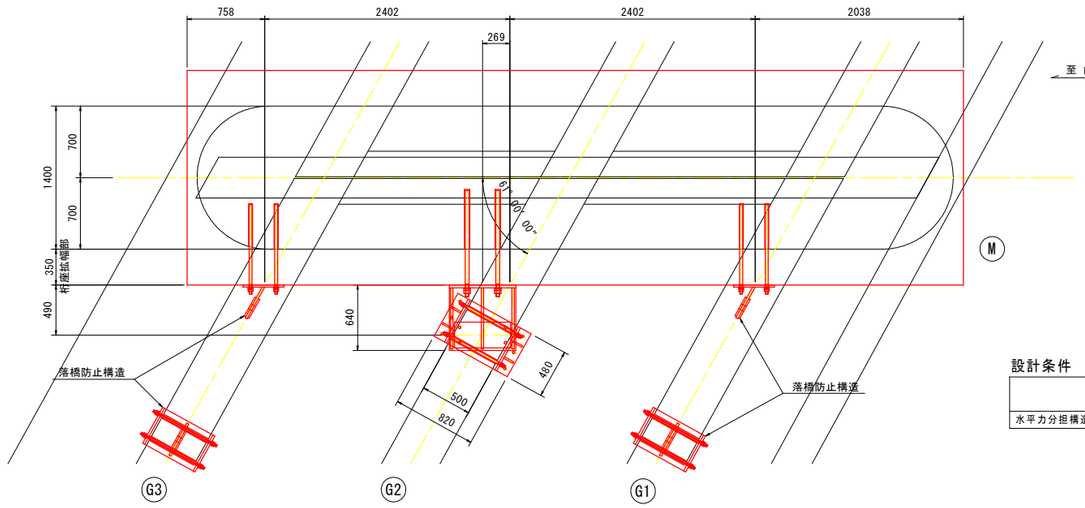
側 面 図



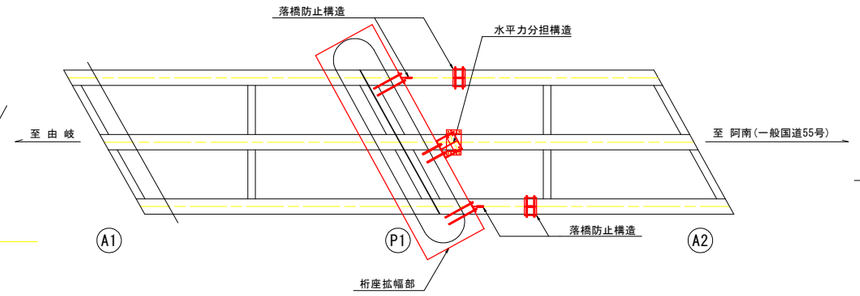
1 － 1



平 面 図 S=1:30



位 置 図



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
水平力分担構造	500	－	200	1	200	21	－

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼　材：HDZ55　※アンカーを除く
   アンカーネジ部：HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

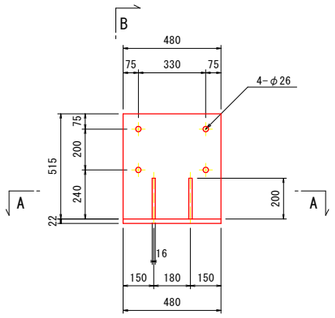
実施設計図面

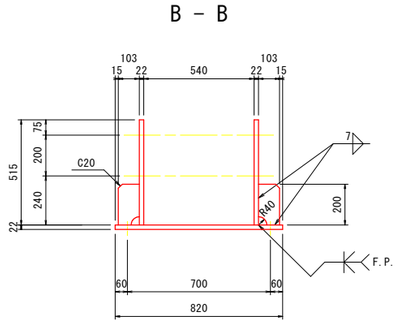
工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その5)		
縮尺	図　示	図面番号	12 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

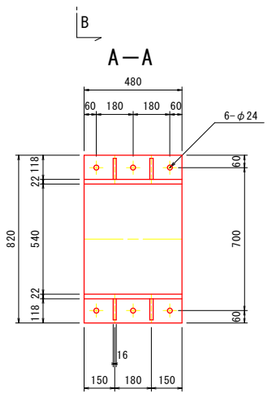
水平力分担構造構造図(その6)

P1橋脚（終点側）加工図

上部工側ブラケット S=1:15

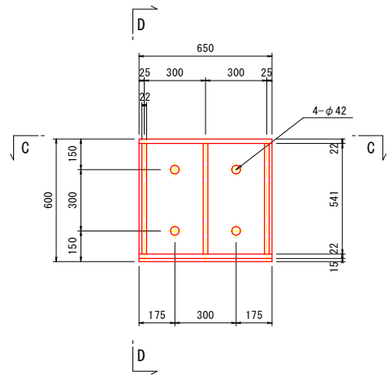


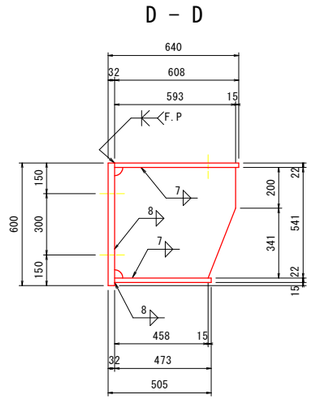


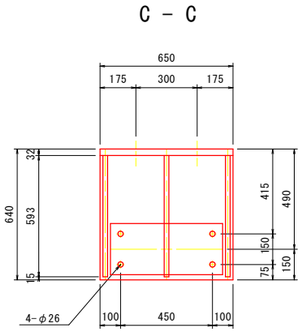


1基当り　(1支承線：1基)
2 - Side PL　480 x 22 x 515
1 - Base PL　480 x 22 x 820
4 - Rib　PL　103 x 16 x 200

下部工側ブラケット S=1:15

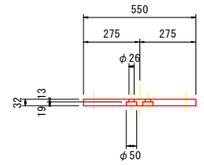


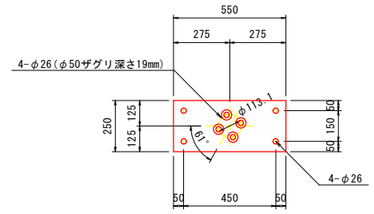




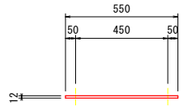
1基当り(1支承線：1基)
1 - UFlg PL　608x22x650
1 - LFlg PL　473x22x650
1 - Base PL　600x32x650(SM490YB)
3 - Rib　PL　541x22x593(Net:0.93)

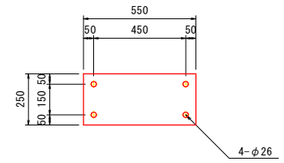
下部工側調整PL S=1:15





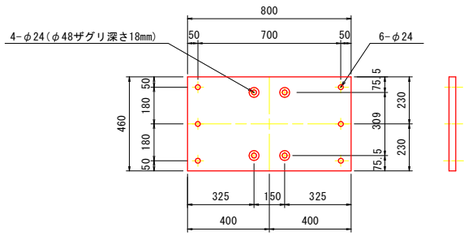
1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　250 x 32 x 550(SM490YB)
4-連結ボルト M22x 100(1-N,2W) (強度区分8.8)

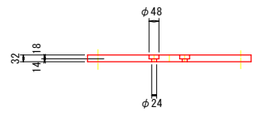




1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　250 x 12 x 550(SS400)

上部工側調整PL S=1:15

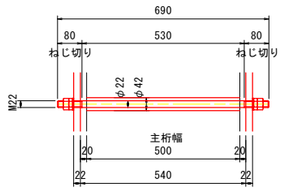




1基当り　(1支承線：1基)
1- PL　460 x 32 x 800 (SS400)
6- 連結ボルト M20x85(1-N,2-W) (強度区分8.8)

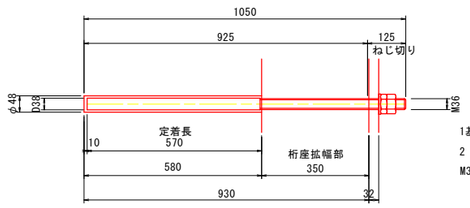
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



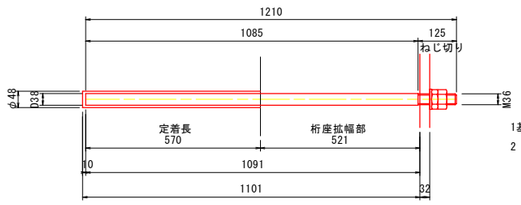
1基当り　(1支承線：1基)
4 -φ22 x 690 (S35CN)
4 - M22 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

下部工側（上段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
2 - D38 x 1050　(SD345)
M36 (1-N(1種,3種),1-W)　(メッキ品)

下部工側（下段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
2 - D38 x 1210　(SD345)
M36 (1-N(1種,3種),1-W)　(メッキ品)

注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

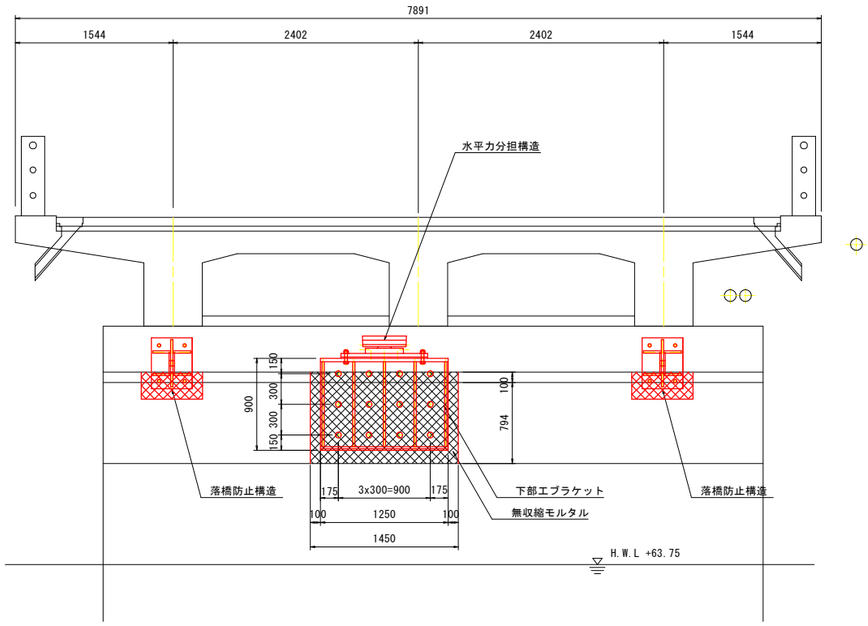
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その6)		
縮尺	図　示	図面番号	13 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

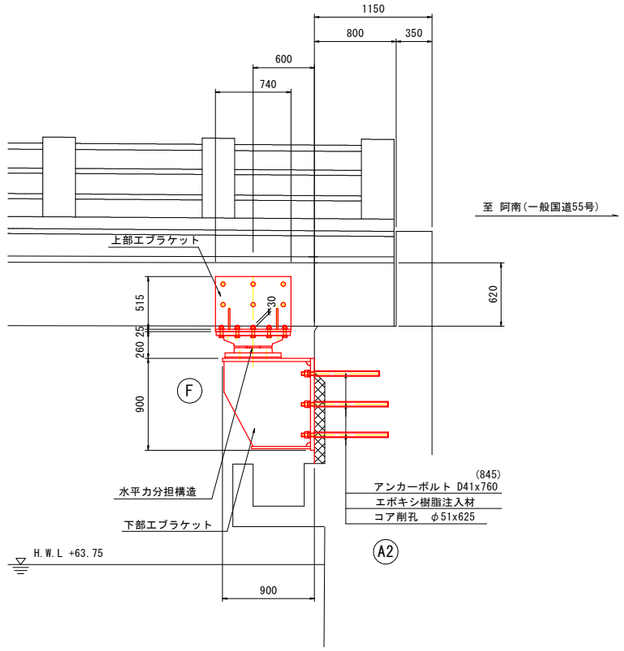
水平力分担構造構造図(その7)

A2橋台配置図

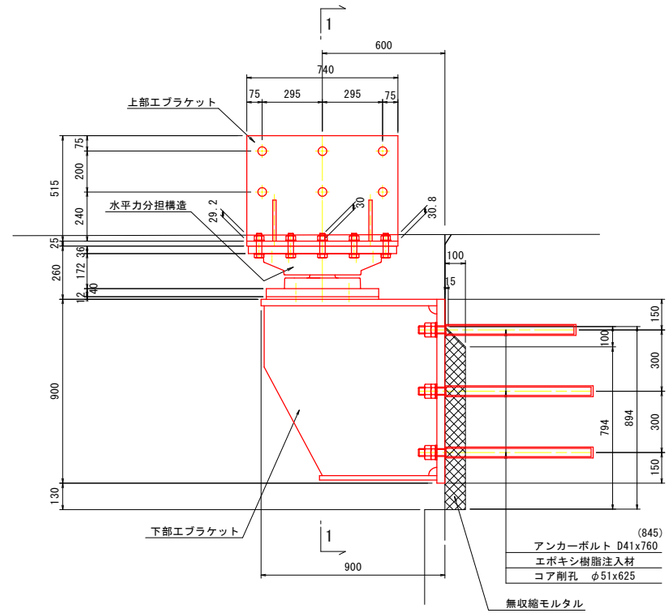
正 面 図 S=1:30
(橋座前面)



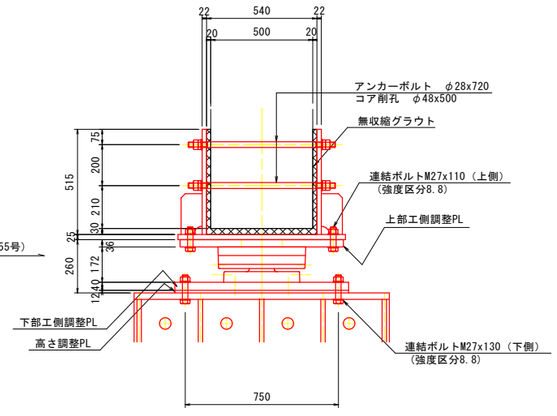
側 面 図 S=1:30



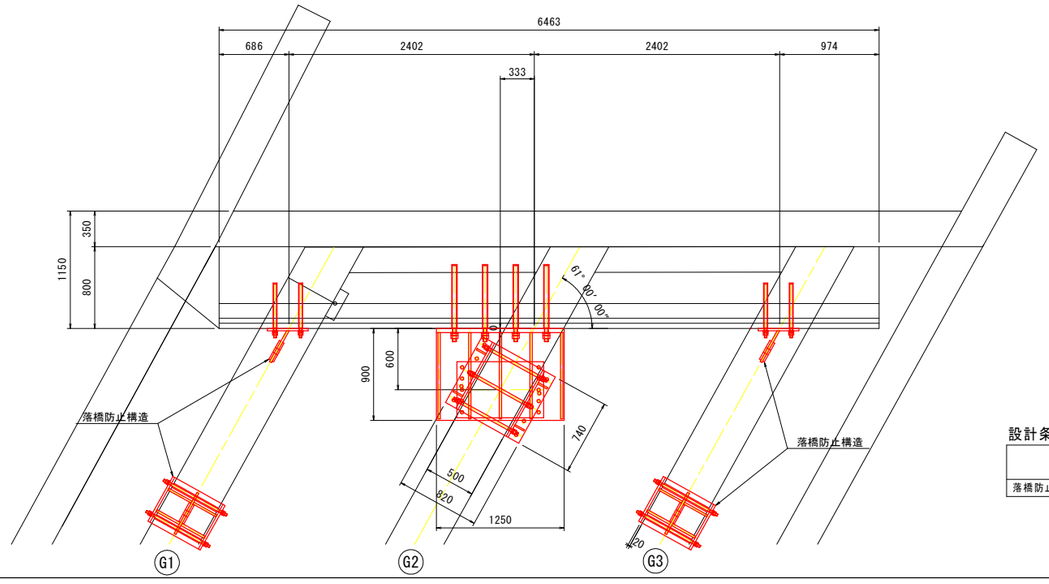
取付詳細図 S=1:15



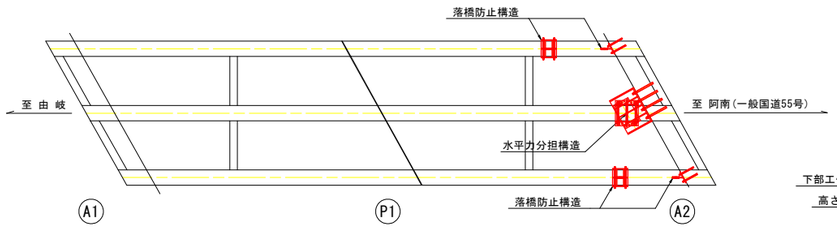
1 - 1



平 面 図 S=1:30



位 置 図



設計条件

	死荷重(kN)	設計地震力(kN)		設置数(基)	作用力(kN/基)	移動量(mm)	
		橋軸方向	橋軸直角方向			最大	最小
落橋防止装置	500	890	450	1	890	15	-

注記)
1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2. 鉄筋削孔に先立ち、鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することの無いよう十分配慮すること。
3. 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ (φ:アンカー径) 以上を確保すること。
4. 鋼材及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。
   鋼 材:HDZ55 ※アンカーを除く
   アンカーネジ部:HDZ35
5. 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

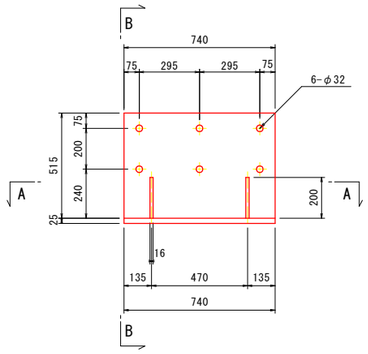
実施設計図面

工事名	R2阿土 蒲生田福井線(逆瀬橋) 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線(逆瀬橋)		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その7)		
縮尺	図 示	図面番号	14 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

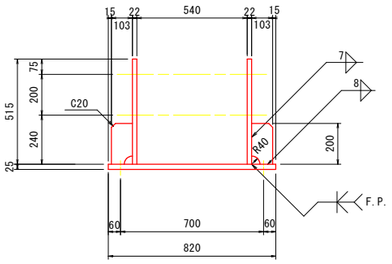
水平力分担構造構造図(その8)

A2橋台加工図

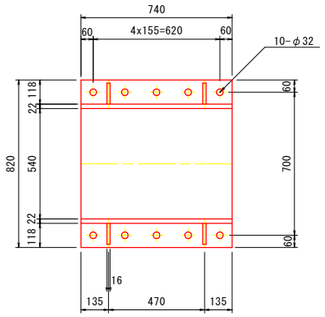
上部工側ブラケット S=1:15



B － B

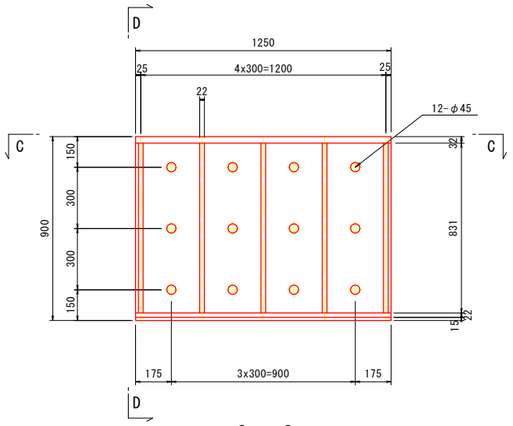


A － A

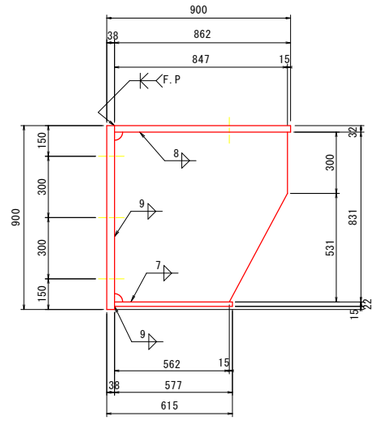


1基当り　(1支承線：1基)
2 - Side PL　515 x 22 x 740
1 - Base PL　740 x 25 x 820(SM490YB)
4 - Rib　PL　103 x 16 x 200

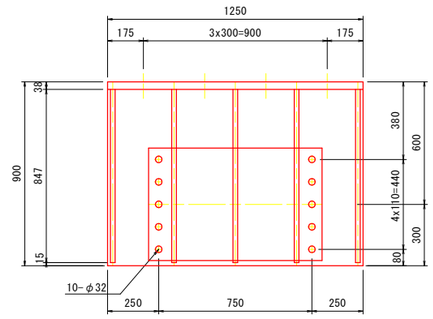
下部工側ブラケット S=1:15



D － D

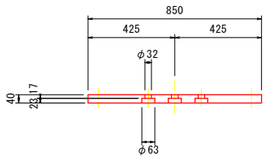


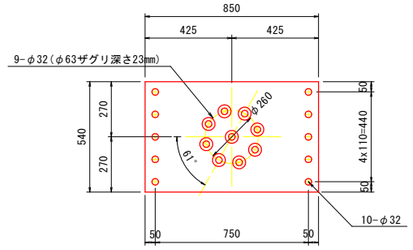
C － C



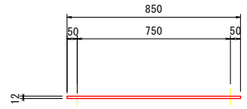
1基当り(1支承線：1基)
1 - UFlg PL　862x32x1250(SM490YB)
1 - LFlg PL　577x22x1250
1 - Base PL　900x38x1250(SM490YB)
5 - Rib　PL　831x22x847(Net:0.89)

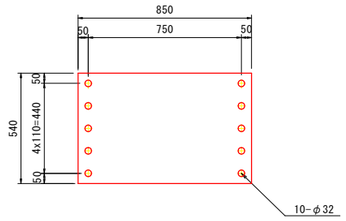
下部工側調整PL S=1:15





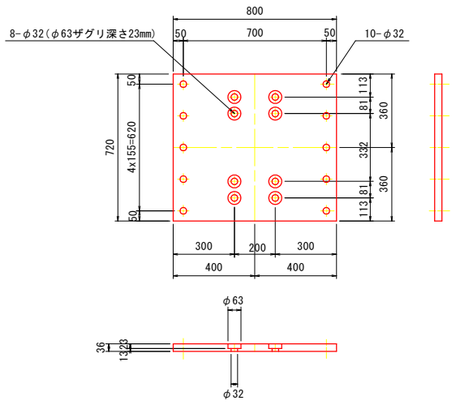
1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　540 x 40 x 850(SM490YB)
10-連結ボルト M27x 130(1-N,2W) (強度区分8.8)





1基当り　(1支承線：1基)
1-PL　540 x 12 x 850(SS400)

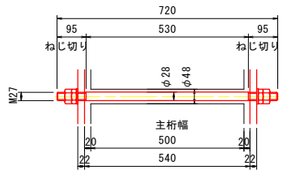
上部工側調整PL S=1:15



1基当り　(1支承線：1基)
1- PL　720 x 36 x 800 (SM490YB)
10- 連結ボルト M27x110(1-N,2-W) (強度区分8.8)

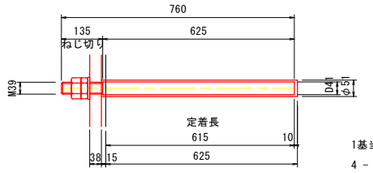
アンカーボルト詳細図 S=1:10

上部工側



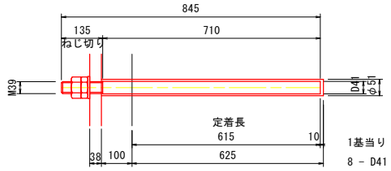
1基当り　(1支承線：1基)
6 -φ28 x 720(S35CN)
6 - M27 (2-N(1種,3種),2-W) (メッキ品)

下部工側（上段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
4 - D41 x 760　(SD345)
4 - M39 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

下部工側（下段アンカー）



1基当り　(1支承線：1基)
8 - D41 x 845　(SD345)
8 - M39 (1-N(1種,3種),1-W) (メッキ品)

注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

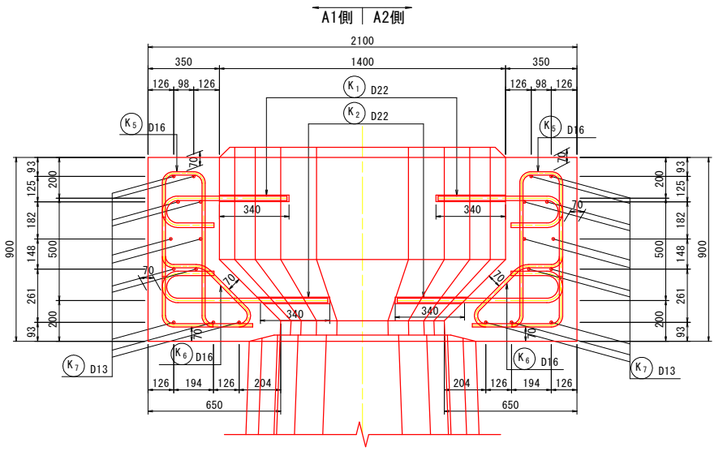
実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造構造図(その8)		
縮尺	図　示	図面番号	15 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

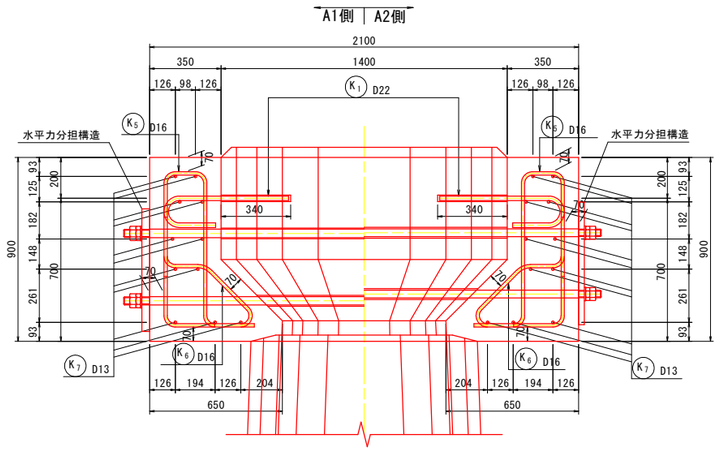
沓座拡幅配筋図（その1）

側 面 図 S=1:15

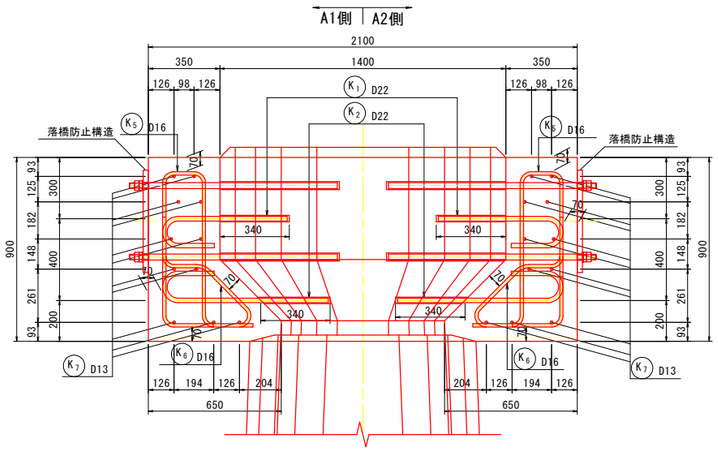
標 準 部



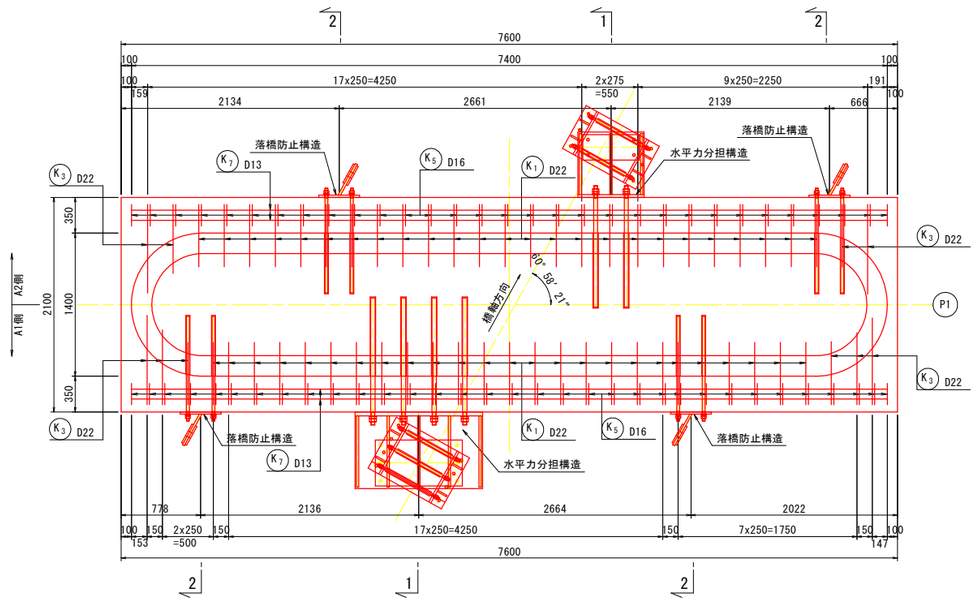
1 － 1



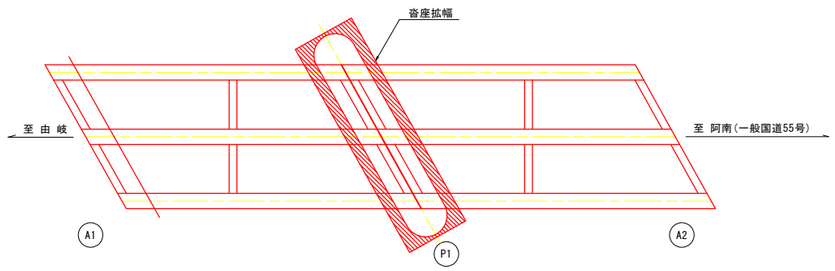
2 － 2



平 面 図 S=1:30

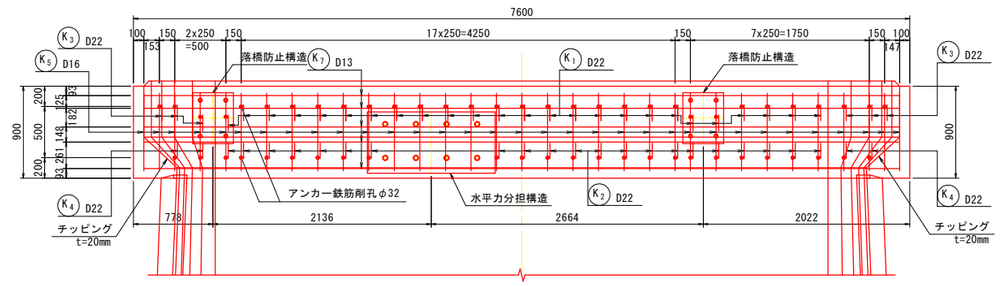


位 置 図

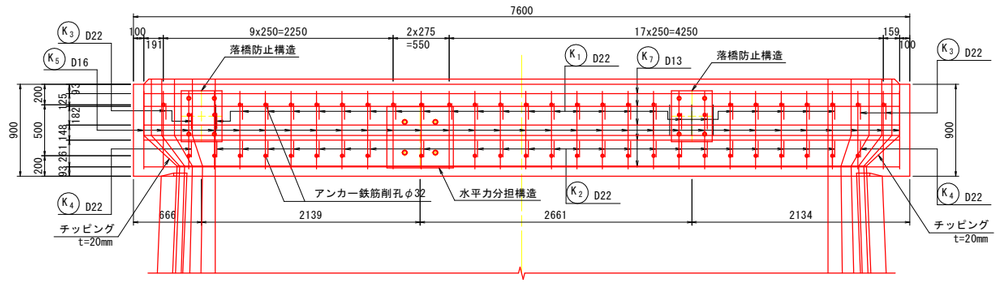


正 面 図 S=1:30

A 1 側



A 2 側



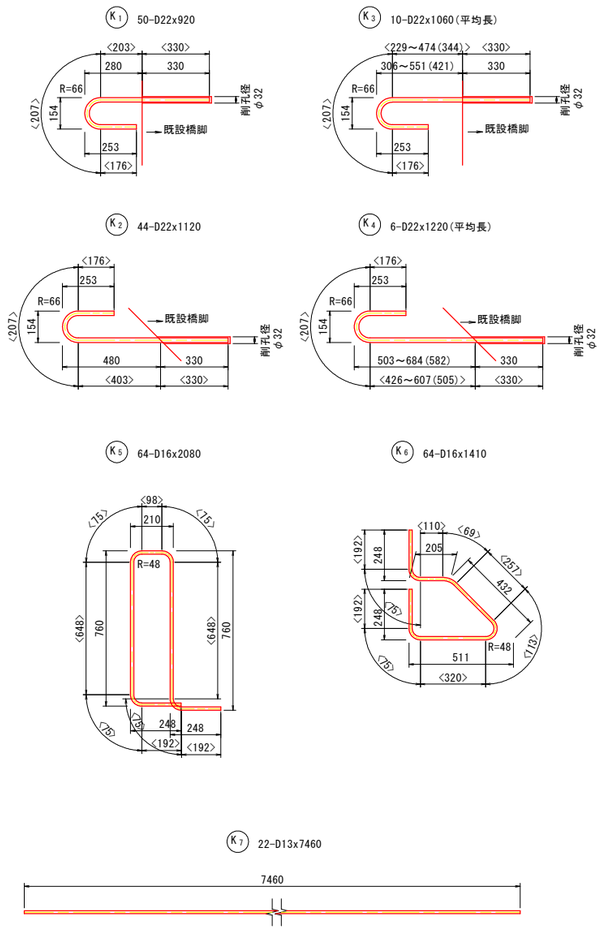
注記）
1. コンクリートの設計基準強度はσck≧24N/mm2とする.

実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井 橋梁耐震補強工事
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）
工事箇所	阿南市福井町日の地
図面名	沓座拡幅配筋図（その1）
縮尺	図 示　図面番号 16 / 22
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局（阿南）

沓座拡幅配筋図(その2) S=1:15

鉄筋加工図



注)鉄筋の曲げ半径は鉄筋中心で示す。
注)< >内数値は鉄筋中心延長を示す。

鉄筋質量表(SD345)

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K 1	D22	920	50	3.04	2.80	140	
K 2	D22	1120	44	3.04	3.40	150	
K 3	D22	1060	10	3.04	3.22	32	(平均長)
K 4	D22	1220	6	3.04	3.71	22	(平均長)
K 5	D16	2080	64	1.56	3.24	207	
K 6	D16	1410	64	1.56	2.20	141	
K 7	D13	7460	22	0.995	7.42	163	
						855 kg	
合 計	D22			344 kg			
	D16			348 kg			
	D13			163 kg			
総質量				855 kg			

実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	沓座拡幅配筋図(その2)		
縮尺	1:15	図面番号	17 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

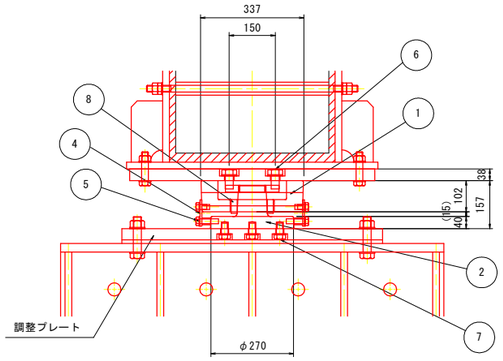
水平力分担構造参考図(その1)

A1橋台

せん断ストッパー（MC-500 ； M-50）

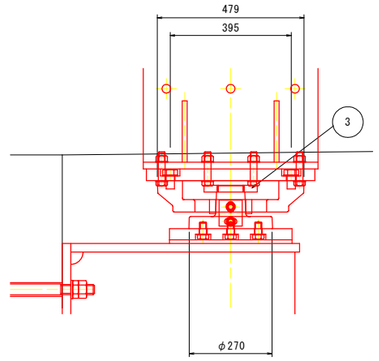
取付断面図 S=1:10

（橋軸直角方向）



取付側面図 S=1:10

（橋軸方向）



材料表

部番	名　　称	寸　　法	材　質	個　数	重量（kg）	備　　考
1	ポット部品	476 x 330 x 102	SCW480N	1	70.2	
2	ストッパー部品	φ270 x 142	SCW480N	1	22.8	
3	リングナット部品	φ174 x 22	S45CN	1	3.1	
4 -1	固定用プレート	75 x 85 x 6	SS400	2	0.4	FB
4 -2	スペーサー	20A x 30	SGP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M16 x 25, 55	強度区分4.8	2/2	0.3	
6	セットボルト、ワッシャー	M27 x 50	強度区分8.8	4	2.6	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M22 x 40	強度区分8.8	8	3.2	下側
8	緩衝パッキン	φ(136-96) ×50	合成ゴム	1	――	低反発型合成ゴム（複合構造型）
9	化粧ボルト、ワッシャー	M16 x 25	強度区分4.8	2	0.1	
10	アイボルト	M12用	SS400	――	――	
					102.8	(kg)

*1)　□内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ55)

　　○内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ35)

*2)　アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。

*3)　固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。

　　符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。

*4)　固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装 30μmとする。

(5) 固定用ボルト,ワッシャー　M16 x 25　強度区分4.8

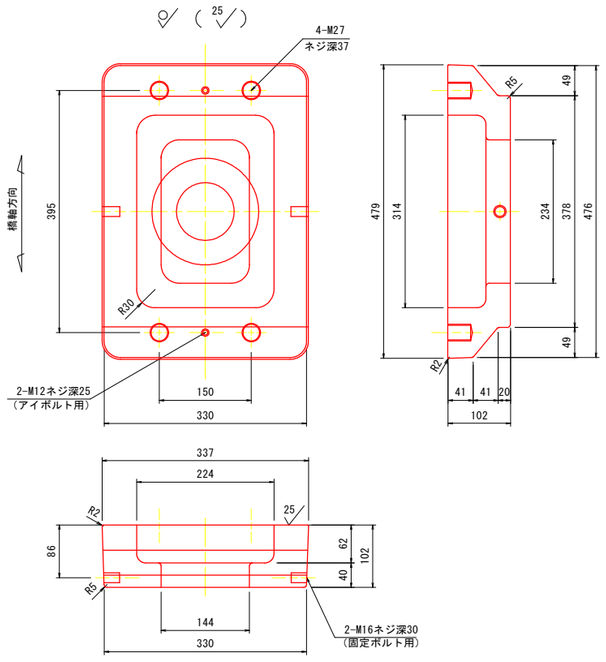
　　M16 x 55　強度区分4.8

(6) セットボルト,ワッシャー（上側）　M27 x 50　強度区分8.8

(7) セットボルト,ワッシャー（下側）　M22 x 40　強度区分8.8

ポット部品 S=1:5

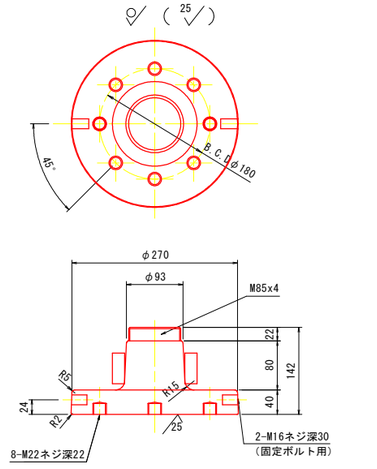
(1)



※　側面の抜き勾配は、3/100 とする。

ストッパー部品 S=1:5

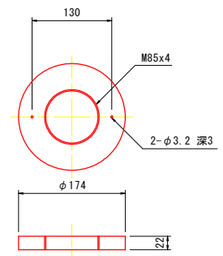
(2)



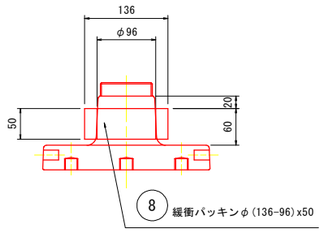
※　側面の抜き勾配は、3/100 とする。

リングナット部品 S=1:5

(3)

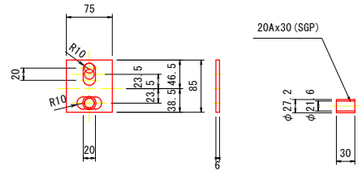


緩衝パッキン取付図 S=1:5



固定用プレート S=1:5

(4)



実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造参考図(その1)		
縮尺	図　示	図面番号	18 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

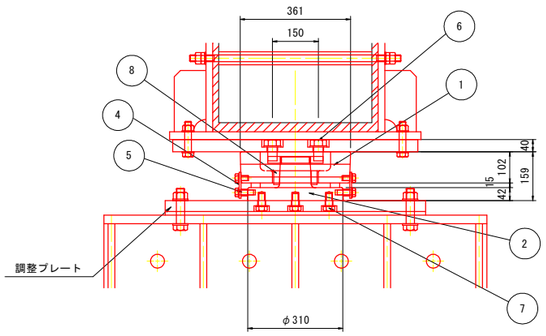
水平力分担構造参考図(その2)

P1橋脚 (起点側)

せん断ストッパー (MC-600 ; F)

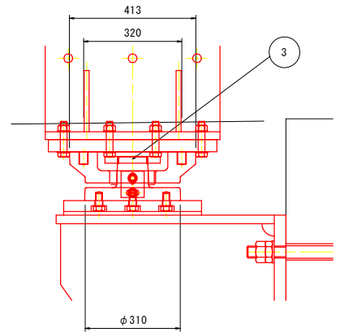
取付断面図 S=1:10

(橋軸直角方向)



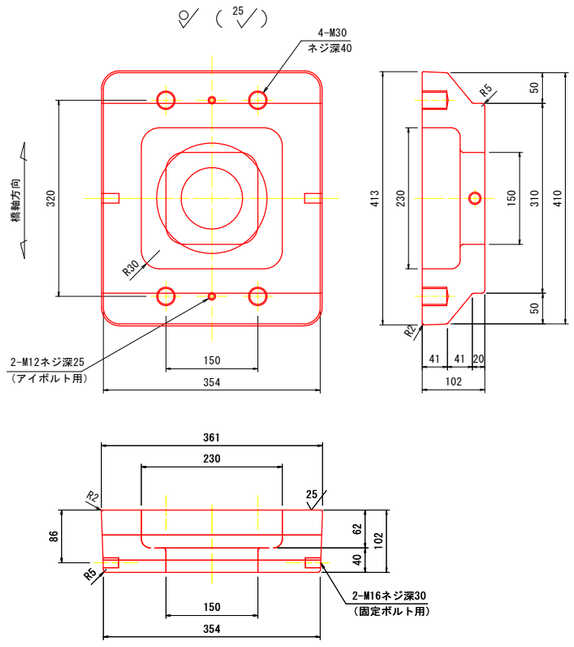
取付側面図 S=1:10

(橋軸方向)



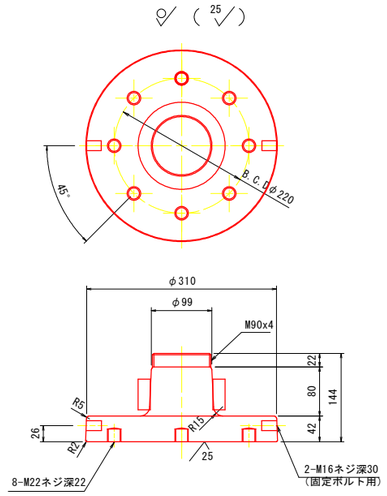
ポット部品 S=1:5

1



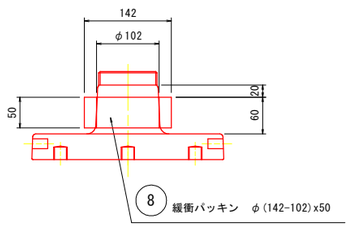
ストッパー部品 S=1:5

2



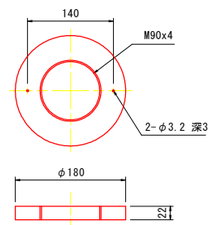
※ 側面の抜き勾配は、3/100 とする。

緩衝パッキン取付図 S=1:5



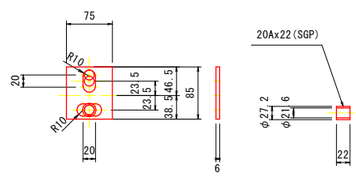
リングナット部品 S=1:5

3



固定用プレート S=1:5

4



材料表

部番	名　称	寸　法	材　質	個　数	重量 (kg)	備　考
1	ポット部品	410×354×102	SCW480N	1	71.3	
2	ストッパー部品	φ310×144	SCW480N	1	28.9	
3	リングナット部品	φ180×22	S45CN	1	3.3	
4 -1	固定用プレート	75×85×6	SS400	2	0.4	FB
4 -2	スペーサー	20A×22	SGP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M16×25,50	強度区分4.8	2/2	0.3	
6	セットボルト、ワッシャー	M30×50	強度区分8.8	4	3.3	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M22×40	強度区分8.8	8	3.2	下側
8	緩衝パッキン	φ(142-102)×50	合成ゴム	1	――	低反発型合成ゴム (複合構造型)
9	化粧ボルト、ワッシャー	M16×25	強度区分4.8	2	0.1	
10	アイボルト	M12用	SS400	――	――	
					110.9 (kg)	

*1) □内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ55)

○内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ35)

*2) アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。

*3) 固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。

符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。

*4) 固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装 30μmとする。

5 固定用ボルト,ワッシャー　M16×25　強度区分4.8

M16×50　強度区分4.8

6 セットボルト,ワッシャー (上側)　M30×50　強度区分8.8

7 セットボルト,ワッシャー (下側)　M22×40　強度区分8.8

実施設計図面

工事名	R2阿土 蒲生田福井線 (逆瀬橋) 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線 (逆瀬橋)		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造参考図(その2)		
縮尺	図　示	図面番号	19 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

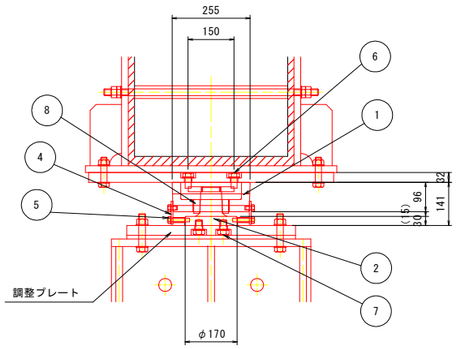
水平力分担構造参考図(その3)

P1橋脚（終点側）

せん断ストッパー（MC-200 ； M-30）

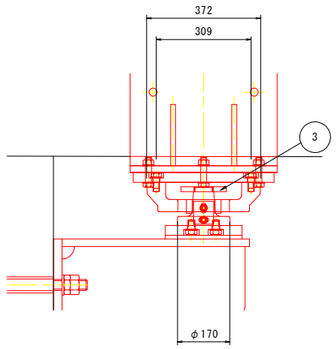
取付断面図 S=1:10

（橋軸直角方向）



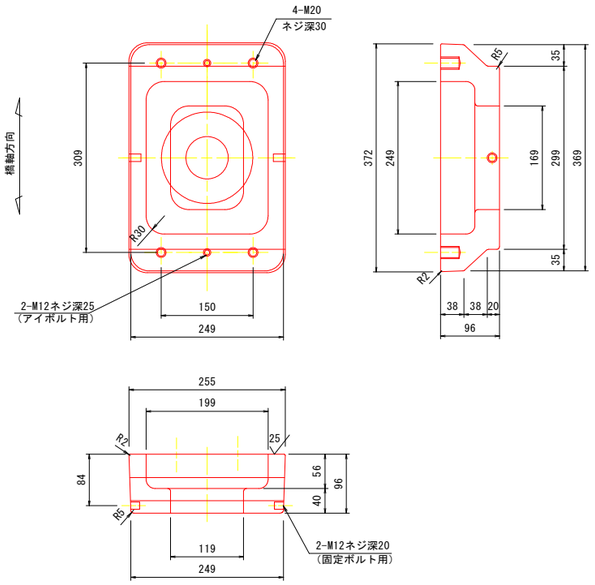
取付側面図 S=1:10

（橋軸方向）



ポット部品 S=1:5

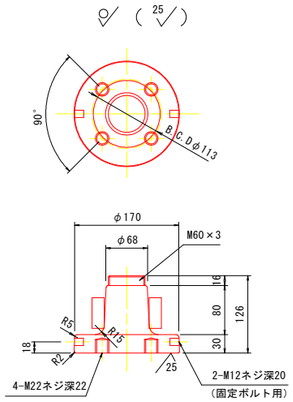
1



※側面の抜き勾配は、3/100 とする。

ストッパー部品 S=1:5

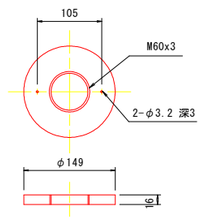
2



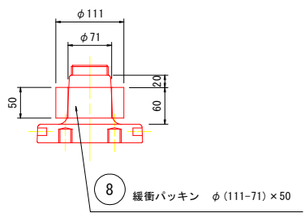
※側面の抜き勾配は、3/100 とする。

リングナット部品 S=1:5

3

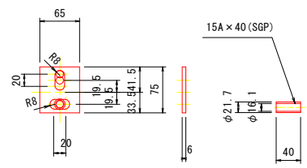


緩衝パッキン取付図 S=1:5



固定用プレート S=1:5

4



材料表

部番	名　　称	寸　　法	材　質	個　数	重量（kg）	備　　考
1	ポット部品	369 x 249 x 96	SCW480N	1	35.6	
2	ストッパー部品	φ170 x 126	SCW480N	1	7.7	
3	リングナット部品	φ149 x 16	S45CN	1	1.8	
4 -1	固定用プレート	65 x 75 x 6	SS400	2	0.4	FB
4 -2	スペーサー	15A x 40	SGP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M12 x 20,60	強度区分 4.8	2/2	0.2	
6	セットボルト、ワッシャー	M20 x 40	強度区分 8.8	4	1.3	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M22 x 35	強度区分 8.8	4	1.6	下側
8	緩衝パッキン	φ(111-71) x 50	合成ゴム	1	――	低反発型合成ゴム（複合構造型）
9	化粧ボルト、ワッシャー	M12 x 20	強度区分 4.8	2	0.1	
10	アイボルト	M12用	SS400	――	――	
					48.8 (kg)	

*1)　□内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ55)

　　○内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ35)

*2)　アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。

*3)　固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。

　　符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。

*4)　固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装 30μmとする。

5　固定用ボルト,ワッシャー　M12×20　強度区分4.8

　　M12×60　強度区分4.8

6　セットボルト,ワッシャー（上側）　M20×40　強度区分8.8

7　セットボルト,ワッシャー（下側）　M22×35　強度区分8.8

実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造参考図(その3)		
縮尺	図　示	図面番号	20 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

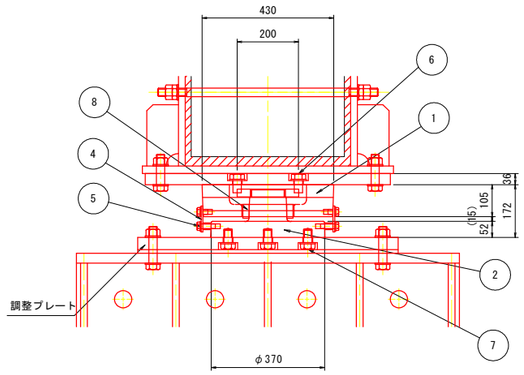
水平力分担構造参考図(その4)

A2橋台

せん断ストッパー（MC-900 ； F）

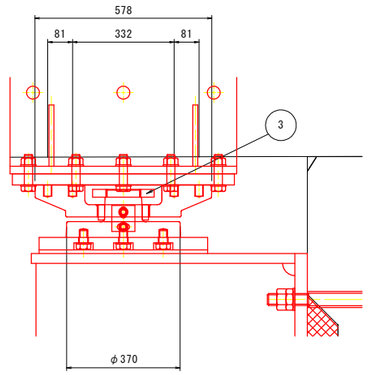
取付断面図 S=1:10

橋軸直角方向



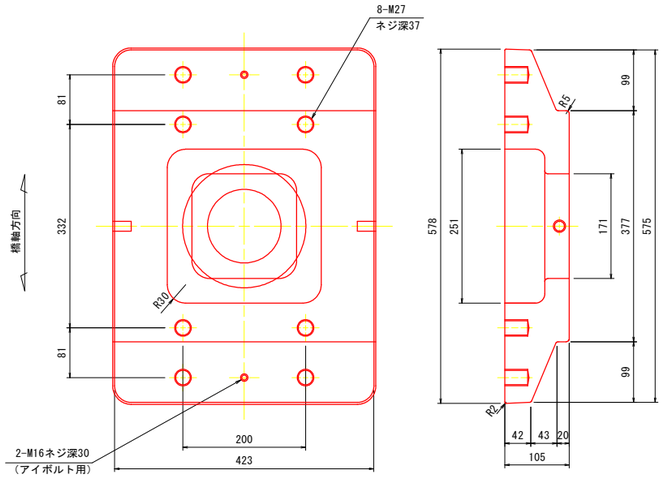
取付側面図 S=1:10

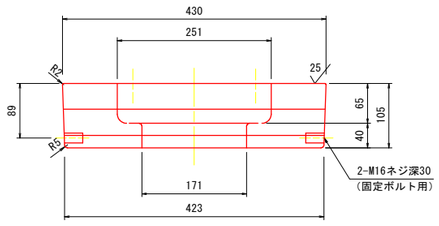
橋軸方向



ポット部品 S=1:5

1

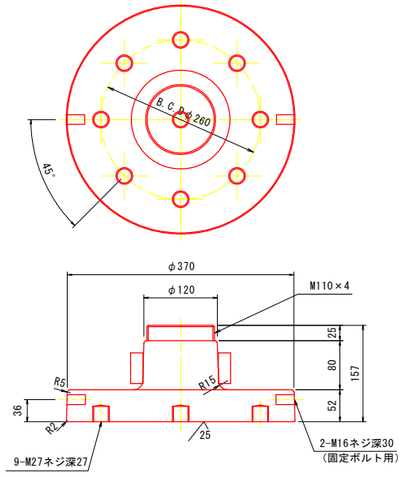




※ 側面の抜き勾配は、3/100 とする。

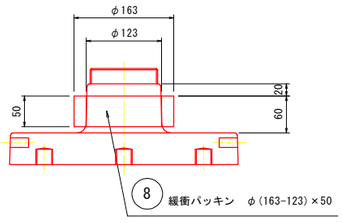
ストッパー部品 S=1:5

2



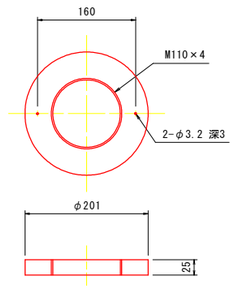
※ 側面の抜き勾配は、3/100 とする。

緩衝パッキン取付図 S=1:5



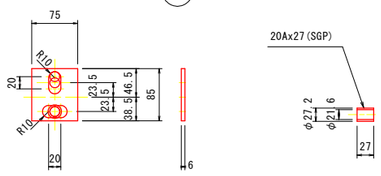
リングナット部品 S=1:5

3



固定用プレート S=1:5

4



材料表

部番	名　　称	寸　　法	材　質	個　数	重量（kg）	備　　考
1	ポット部品	575×423×105	SCW480N	1	130.7	
2	ストッパー部品	φ370×157	SCW480N	1	51.3	
3	リングナット部品	φ201×25	S45CN	1	4.3	
4 -1	固定用プレート	75×85×6	SS400	2	0.4	FB
4 -2	スペーサー	20A×27	SGP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M16×25,50	強度区分4.8	2/2	0.3	
6	セットボルト、ワッシャー	M27×45	強度区分8.8	8	5.2	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M27×45	強度区分8.8	9	5.9	下側
8	緩衝パッキン	φ(163-123)×50	合成ゴム	1	――	低反発型合成ゴム（複合構造型）
9	化粧ボルト、ワッシャー	M16×25	強度区分4.8	2	0.1	
10	アイボルト	M16用	SS400	――	――	
					198.3 (kg)	

*1） □内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ55)

○内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ35)

*2） アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。

*3） 固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。

符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。

*4） 固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装 30μmとする。

5 固定用ボルト,ワッシャー　M16×25　強度区分4.8

M16×50　強度区分4.8

6 セットボルト,ワッシャー（上側）　M27×45　強度区分8.8

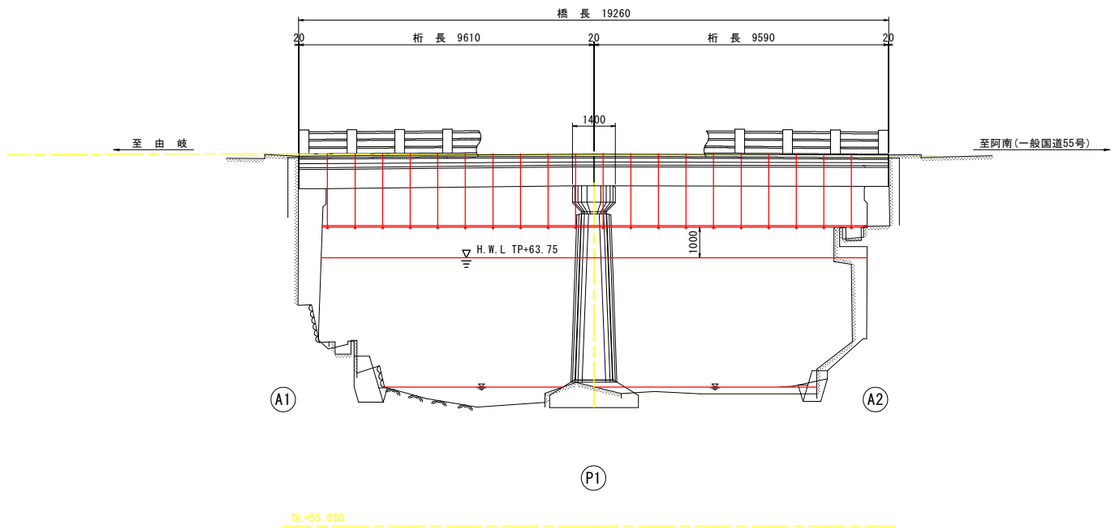
7 セットボルト,ワッシャー（下側）　M27×45　強度区分8.8

実施設計図面

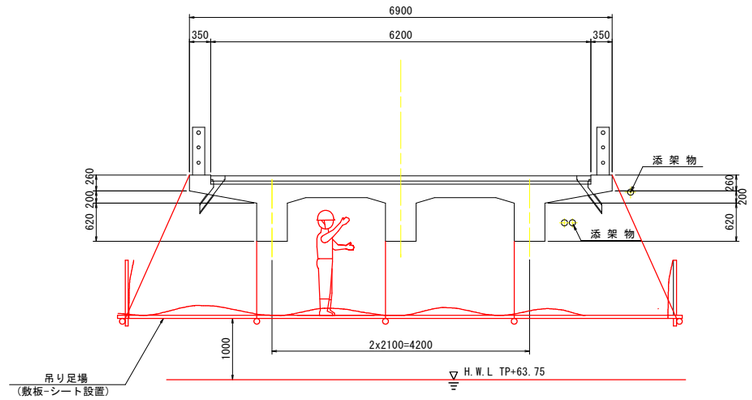
工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井　橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	水平力分担構造参考図(その4)		
縮尺	図　示	図面番号	21 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		

逆瀬橋施工計画図 S=1:100

側 面 図



上部工断面図 S=1:50



施工フローチャート

現地調査
作業ヤードの確保

↓

足場設備組立て工

↓

現況寸法調査

↓

沓座拡幅工

↓

落橋防止設置工

↓

水平力分担構造設置工

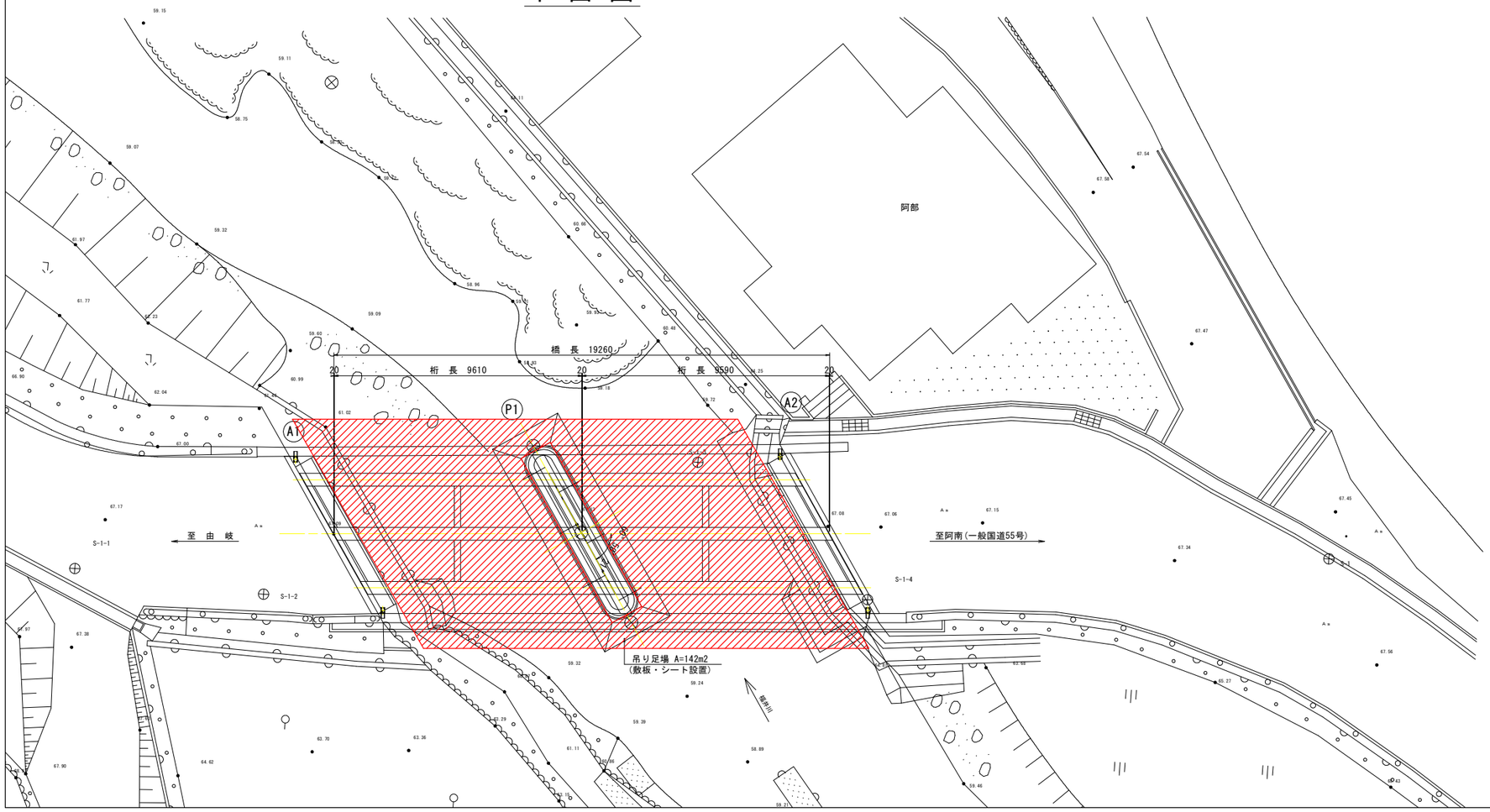
↓

足場設備解体工

↓

後 片 付 け

平 面 図



凡例

吊り足場

実施設計図面

工事名	R２阿土 蒲生田福井線（逆瀬橋） 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	蒲生田福井線（逆瀬橋）		
工事箇所	阿南市福井町日の地		
図面名	逆瀬橋施工計画図		
縮尺	1:100	図面番号	22 / 22
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局(阿南)		